

表4 活動の必要性を上司や関係機関、住民組織に納得してもらえらる決め手(今までの保健師経験より)

保健師としての経験年数	現在の役職	記述内容
5年未満	スタッフ	具体的なデータの提示、活動しなかったことによる住民の不利益を示す
5年未満	スタッフ	(1) 行政の機関は①健康課題の実態がわかる数値化された資料、健康の指標やアンケート調査の結果など②医療費の増減：何もしなければ医療費がどのくらい増加していくのかの将来予測を数値として出していく(HIVの予防など) (2) 住民組織：QOLの改善、具体的負担の軽減の例示、地域住民の健康課題についての理解を促進することなど
5年未満	スタッフ	(子供の成長のために必要である) 根拠を示すこと
5年未満	スタッフ	1. 6才健のフォローについて、フォローの対象数とそれに用いる資料を作成して説明したこと。
5年未満	スタッフ	①どうなったら良いのかという目ざす姿を共有②地域の実態や健康課題の情報提供
5年未満	スタッフ	①科学的根拠をもって伝え、何をすべきかが明確であること。②住民と一緒にとりくみ、保健師は黒子になること。③ねばり強く行なうこと。
5年未満	スタッフ	①活動が必要であるかどうかを自身(私)が知ること②相手の考えを知ること③何が出来るかを共に考えること。足しげく通い話しをすること。
5年未満	スタッフ	①国・県からの通知。②他市の状況。③計画書(財源、人員他)
5年未満	スタッフ	①自分が感じる課題を現状と予測性をもって、自分の中で何度も確認する②自分の感じる、考える問題を同僚・上司に共通認識をもってもらう。③住民及び、住民組織のリーダーに問題や活動につながる効果を共有化する。
5年未満	スタッフ	4ヵ月育児相談の未受診者への訪問活動を実施し、その目的や実績・成果をまとめて上司に報告した際に、この活動のことを健康づくりの推進協議会の場で公表してはと言われた。予算を確保するわけではなかったが、保健師の視点での活動とまとめて提示することが決め手だと思う。
5年未満	スタッフ	E B Mに基づく説明・日頃の信頼
5年未満	スタッフ	E B Mに基づく説明と実施した成果
5年未満	スタッフ	e x : 介護予防事業の必要性について、介護保険の申請(意見書分析)により、介護が必要になった原因分析を実施、整形疾患(2倍)→転倒予防教室の必要性を証明
5年未満	スタッフ	P D C Aサイクルに添って資料作成し説明。今年はマインドマップを作成し説明している。
5年未満	スタッフ	P N Hが一方向的に課題と思われることをまとめ、必要性を説明するのではなく、課題と思われることを共有し、どう解決のために動くかについても関係者から意見をもらってすすめていく。
5年未満	スタッフ	アンケートと企画書。各地域での説明会
5年未満	スタッフ	アンケートや健診データの変化など客観的資料による説明
5年未満	スタッフ	アンケート調査をまとめ、住民の声をデータ化し、書類作成したものを上司に提示する。同規模の他市に照会をかけ、一覧表にして提示する
5年未満	スタッフ	いち係員の意見を課内の係長会議で公表し、課内全体で検討することができ、形としてまとまることができた
5年未満	スタッフ	エビデンスに基づいた指標を使うこと。上司とともにさらに上の上司、関係機関に出向いて説明すること。
5年未満	スタッフ	エビデンスや他市町村の情報などの裏づけを用いて説明。資料を準備する。又聞きあえる関係性がある。
5年未満	スタッフ	エビデンスや法的根拠などに基づいた資料
5年未満	スタッフ	お互いのニーズを明確にすることだと思います。対象によっては、ニーズがあわない時があります。その時は、時の変化をまつことです。
5年未満	スタッフ	お互いの信頼関係を得ること
5年未満	スタッフ	がん検診の個別化、受診の機会が増えることで早期発見につながり医療費の削減につながる
5年未満	スタッフ	きちんとした研究結果に基づいた活動であること。実施に関して行政としてどこまで携われるかの明確化、その上で結果の出せる活動方法を選ぶ
5年未満	スタッフ	グラフや図などの資料を用いること。
5年未満	スタッフ	グループで話し合い、現状を数値化した
5年未満	スタッフ	ケア会議等で現在の課題とニーズを提起し、各担当者が役割を確認、課題解決の目処がつけられたと相互に確認できること。
5年未満	スタッフ	ケース会議を開き、その場に同席してもらったり、結果を記録し報告した。
5年未満	スタッフ	コストとの関連性
5年未満	スタッフ	こちらの要望としてではなく、住民サイドからの考え方に立って話をすすめる
5年未満	スタッフ	こまめな、そしてタイムリーなほうれんそう(報告、連絡、相談)。・必要な資料を提示すること
5年未満	スタッフ	コミュニケーション、情報交換、対話、顔と顔の見える関係づくり
5年未満	スタッフ	これまでの経過(5~6年間)の成果を説明することによって、方向性をかえることについて納得してもらった。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年未満	スタッフ	サービス経験者・利用者の声
5年未満	スタッフ	サマリ・概要など説明資料を作成し説明を行う
5年未満	スタッフ	しっかり専門職としてアセスメントし、行動の必要性を明確にすること
5年未満	スタッフ	その活動がどれだけ住民にとって必要であるか文章にし、却下されてもあきらめずに何度も伝えていくこと
5年未満	スタッフ	その活動の効果を示す
5年未満	スタッフ	その活動の目的がまず明確であること。そして、その方法の効率性や優先度が適切であること
5年未満	スタッフ	その事業が必要である根拠を出来るだけ数値で出す
5年未満	スタッフ	その事業の必要性を最近の社会の風潮・傾向から自らの地域でも取り組むべき課題としてあげたこと。
5年未満	スタッフ	それをした結果どのような変化が見込めるか、具体的かつ対象が良い思いをできそうな場合はそれも含めて伝えること。
5年未満	スタッフ	データ(統計、実績)として示す。事業等の必要性について、わかりやすくまとめ、働きかける。手法として、グループワーク、ワークショップなどの活用。
5年未満	スタッフ	データ・資料づくり(←対象に合ったわかり易い)→提示を行った。あとしプレゼンの熱意。あらかじめ小出しに提示(根まわし)はしておく。
5年未満	スタッフ	データーを提示し、今ある現状、今後の有益性(コストも含めて)を示す
5年未満	スタッフ	データと熱意
5年未満	スタッフ	データのグラフ化により、市民の状況を目に見える形で表現したこと。費用対効果、過去の成果を数値化して見せたこと。
5年未満	スタッフ	データの改善した内容を示す
5年未満	スタッフ	データの整理をし、現状と課題を提示
5年未満	スタッフ	データの提示、具体的活動方法の提示
5年未満	スタッフ	データの分析をし、分かりやすい資料づくり、エビデンス、住民と共に企画する各種計画の上での活動の位置づけ、国・各自治体の動き、法改正など
5年未満	スタッフ	データをグラフ化し「見える化」することで、説得力のある説明が可能
5年未満	スタッフ	データをしめす、事前説明
5年未満	スタッフ	データを持って説明する、経過などを説明し全員と共有する。
5年未満	スタッフ	データを収集し、論理的な文書を作成。それを口頭で端的に伝える。
5年未満	スタッフ	データを提示すること。法的根拠を明らかにすること。
5年未満	スタッフ	データを分析し、その過程を関係者と共有する
5年未満	スタッフ	データを量的、質的に分析したものを、わかりやすく提示する
5年未満	スタッフ	データ提示および個の意見でなく集団スタッフの統合した意見から必要性を伝える
5年未満	スタッフ	データ分析(←地区踏査)の結果をもとにした説明は効果があった。
5年未満	スタッフ	データ分析とデータをわかりやすく見えるよう示すこと
5年未満	スタッフ	なぜ、その事業が必要か根拠を明確にすること
5年未満	スタッフ	なぜ、それをするのか、期待する成果について、顔を見て話しをする
5年未満	スタッフ	なぜ必要なのか理由を説明すること
5年未満	スタッフ	ニーズと効果を伝えたこと
5年未満	スタッフ	ニーズを数値化すること。(アンケートをとる)
5年未満	スタッフ	ビジョンやプロセスを明確化し、言語化できること
5年未満	スタッフ	ふだんからその問題提起を先方しておく
5年未満	スタッフ	プリシード・プロシードモデル(MIDORIモデル)等を使用すること。フォーカスグループインタビューで住民の思いをきくこと。市のめざす姿の明確化、グループ内の保健師他関係者と施策を検討すること。
5年未満	スタッフ	まずはコミュニケーション能力が必要。住民の立場を理解できる能力の上に、医療・看護の知識力で健康づくり・命を守る技術(ケア力)のあること。以上のことを基礎として、健康についてアセスメントした結果を示すこと。
5年未満	スタッフ	まずはニーズを把握すること。アンケートなどのデータからニーズを出して上司や関係機関に説明。期待できる効果と有効性を伝えることが重要。
5年未満	スタッフ	まずは信頼関係を築くこと。現状と今後の展望について説明し、介入した場合としない場合について説明すること。
5年未満	スタッフ	まず現状・問題点を説明し、それについて本音で話し合う場を作った。そのことで実施上の課題がはっきりし、その上で新たな方策等が見つかった。また実施後、意見をもらうなど評価しながら改善していくようにした。
5年未満	スタッフ	まず根拠を持った説明をする。しっかりと繰り返し話す。(代表者、協力者を中心に)
5年未満	スタッフ	まだ当県で自殺予防が事業化されていなかった頃、時期尚早と言われましたが、統計資料・住民の声・町PHNのニーズ・とりくみ体制等を企画書にしました。上司の理解を得られ早くとりくみことができました。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年未満	スタッフ	メリット、デメリットを比較する
5年未満	スタッフ	メンタルヘルスに関する支援を必要とする人 e t c 地域の推定人数を国の実態調査に合わせ算出すると、上司（というより上司から指示で算出したが）及び地域住民・公的機関（役場）・新聞記者の反応が大きかった←例：1年以内に抑うつ状態になった人、自殺未遂をやった人 e t c を算出した（管内人口で出した）
5年以上15年未満	スタッフ	やりたい事は（専門職として問題と思いとりにくみたい事）資料を集めておき、国の流れや議会等、予算のつきやすい時に提案（事業化）する。
5年以上15年未満	スタッフ	ワーキンググループ等で課題を話しあうこと
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすいようなデータを示し、直接、住民とのやりとりをしながら、結果を返していく。
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすい資料で説明（数値、表、比較）
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすい資料の提示、費用対効果の説明
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすい資料を作成し、わかりやすく説明することが決め手だと思います。
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすい説明と具体例の提示、効果を示す
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすい理由、裏づけと活動によって見込まれる成果をイメージできるように説明すること。成果がプラスにならずに現状維持は痛み分けとなる場合は、よけいに相手方の話を聞く姿勢を示すこと。
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすく図式化し、説明する。
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすく説明する、言葉・図や表を使って示す
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすい資料。必要性を明らかにする根拠をます。
5年以上15年未満	スタッフ	以前、他市にいた時、保健師で協力し、検査の導入などをやる際、目的や必要性などデータ化し、医師会などにも協力してもらい、納得してもらった。
5年以上15年未満	スタッフ	医療費分析、死亡状況、状況調査（アンケート、聞きとり調査）、国の方針、法律、庁舎内の連携状況
5年以上15年未満	スタッフ	育児相談の開催の回数ややり方について実際に上司にみてもらうこと。住民の意見をきいてもらうことが決め手だった
5年以上15年未満	スタッフ	一緒に考えて決める。現状を示す。グループワーク統計を示す。目的を明確にする。
5年以上15年未満	スタッフ	一目でわかるデータを元に簡潔に説明すること
5年以上15年未満	スタッフ	何のために必要かを理解してもらう。そのための手順・予算。
5年以上15年未満	スタッフ	科学的根拠に基づいたデータによる説明。自分の地域の実態を示す。
5年以上15年未満	スタッフ	課題について数値で説明できること
5年以上15年未満	スタッフ	課題を数字で示す。話し合いの場を設ける。
5年以上15年未満	スタッフ	課題を明確化し、分かりやすい資料と説明。関係機関や住民の意見も入れながら、方向性、役割を決めていく
5年以上15年未満	スタッフ	課題抽出の際に住民のニーズがどれだけ高まっているかなど示し、必要性の高さを表現したこと。
5年以上15年未満	スタッフ	課内で意志統一
5年以上15年未満	スタッフ	過去の実績や現状をふまえ、その必要性を説明する
5年以上15年未満	スタッフ	介護予防教室において、その参加率を維持することができたこと。住民にとって必要であることをはかる指標となった。
5年以上15年未満	スタッフ	各地区の保健推進員が、自主的に健康教室を開催する。（意欲のある推進員の地区活動の発表を会議で行なった後、他の推進員と一緒にグループワークし、自分の地区では何ができそうかを具体的に話し合った。今は、ほぼ全地域に広がっている。）
5年以上15年未満	スタッフ	学会の指標やガイドライン、法律に沿っていて将来的にこのような方向に進むので、この活動は必要であるということを伝える。
5年以上15年未満	スタッフ	学会等での発表
5年以上15年未満	スタッフ	活動が必要となる根拠を示す（しなければ費用がこれだけかかる、こんな病気になるなど）
5年以上15年未満	スタッフ	活動する上で根拠となるデータや資料を示すこと
5年以上15年未満	スタッフ	活動のなかから感じたことを会うたびに伝える。伝えた時の反応で同じ問題点を感じている人どうしを結びつけることができるよう話し合う場を作る
5年以上15年未満	スタッフ	活動の開始となった根拠を市のデータや国の施策（特に推進する理由）など基礎資料として集め説明する。また活動の今後（2～3年後及び長期スパン）の方向性を示す。
5年以上15年未満	スタッフ	活動の結果から得た効果を住民自身が上司または首長に知らせてくれたこと
5年以上15年未満	スタッフ	活動の根拠について伝える
5年以上15年未満	スタッフ	活動の必要性となるデータをあつめ、目的を明確にしてから資料をもとに説明したことが決め手であったのではないと思う。
5年以上15年未満	スタッフ	活動の必要性について、上司に納得してもらう程、話ができている。
5年以上15年未満	スタッフ	活動の必要性を数値的なグラフ等示して、具体的に今必要な事は何でどうしたらよいかを説明した。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	スタッフ	活動の本来の目的を理解してもらえた。活動することによる効果の予測を理解してもらえた。
5年以上15年未満	スタッフ	活動の目的・内容を明確に示し、予測される効果を伝えること
5年以上15年未満	スタッフ	活動の有効性を示すデータや資料の提示
5年以上15年未満	スタッフ	活動を行う根拠を示し、目的や計画を立てて説明すること。
5年以上15年未満	スタッフ	活動を行う背景、目的、目標などについて明確に伝える
5年以上15年未満	スタッフ	活動を行なう事でどの様なメリット（デメリット）があるか整理をし、伝える
5年以上15年未満	スタッフ	活動を行わない場合の不利益の予測を提示（逆もあり）
5年以上15年未満	スタッフ	活動を必要とする裏付けを伝えたこと
5年以上15年未満	スタッフ	活動内容の資料化（数量化・費用対効果・実施効果の明確化）とプレゼンテーション
5年以上15年未満	スタッフ	肝疾患罹患率、死亡率ともに高い地域性のため、肝疾患対策に取り組んだ。まず実態を把握すること。地区組織との連携を図った。事業目的・主旨説明・予算の裏付けなど事業計画書作成し、具体化を図った。
5年以上15年未満	スタッフ	関係機関で話しあい、今ある問題を抽出する
5年以上15年未満	スタッフ	関係機関とのつながりをつねに良好に保ち、情報を与えたり得たりする関係の維持。
5年以上15年未満	スタッフ	関係機関との連携を密にすること（協力があること）、上司に理解を得ること、自分の熱意が不可欠
5年以上15年未満	スタッフ	関係機関に出向き、地域の課題を伝え、相互に出来ることを確認しあうことが決め手となった。
5年以上15年未満	スタッフ	関係機関のスタッフとの情報交換を行い、対象にとっての必要性を共有化することで、お互いの上司へアプローチしていくことができた。
5年以上15年未満	スタッフ	関係機関や住民組織に直接足を運び、代表者の理解を得る
5年以上15年未満	スタッフ	関係者の意識調査を事前に行っておく。可能な限りデータを集める。関係する制度等について事前に調べ理解しておく。
5年以上15年未満	スタッフ	関係者間でよく話し合い検討する。そのために1人1人が根拠や目的等をきちんと把握しておく
5年以上15年未満	スタッフ	顔を合わせ、話し合いを何度ももつこと。
5年以上15年未満	スタッフ	企画書の作成・効果的なプレゼンテーション
5年以上15年未満	スタッフ	企画書をきちんと出すこと、日ごろの関わり
5年以上15年未満	スタッフ	基礎データ（地域の課題）と関わる事での効果をデータで示す
5年以上15年未満	スタッフ	基礎資料の提示とプレゼンテーション能力
5年以上15年未満	スタッフ	既存資料から数値で現状を説明。
5年以上15年未満	スタッフ	記録をきちんと残す
5年以上15年未満	スタッフ	喫煙予防教室を小4、中1に実施したい旨、アンケートをとったり、その結果を見せて校長会に出向き、納得してもらえた。それ以前に教育課や教育長にも説明して了承してもらった。
5年以上15年未満	スタッフ	客観的なデータ（統計等）を用いて説明する。
5年以上15年未満	スタッフ	客観的なデータを示す、保健師の熱意を伝える
5年以上15年未満	スタッフ	教室参加者の実施前後のアセスメントをきちんと実施することで、取組み内容の評価を行うことと参加者自身の取り組みの結果（体調・感想・継続の意義など）を感じてもらい、自主グループとして継続する。
5年以上15年未満	スタッフ	業務実績の報告と課題・アンケート等の集計結果と今後の課題
5年以上15年未満	スタッフ	具体的な算定資料の提出
5年以上15年未満	スタッフ	具体的な事例を関係者と共有する
5年以上15年未満	スタッフ	具体的に課題を数値にしています。法的根拠を示す。地域のニーズを示す。
5年以上15年未満	スタッフ	具体的な事例を示して計画から結果まで順序だてて説明する。・客観的数字を示す。・経済効果（予算と予測、実際）を示す。
5年以上15年未満	スタッフ	具体的な事例を説明する。必要な資料を作成・説明する。
5年以上15年未満	スタッフ	経年変化や問題点を整理することや費用対効果を明確にし、それを資料にまとめる。
5年以上15年未満	スタッフ	継続的に住民組織とのつながりをもっていたこと。継続的に関係機関に連絡をとりあっていたこと。-その結果
5年以上15年未満	スタッフ	結果を数値化して、わかりやすいように示す。住民の声を伝える。
5年以上15年未満	スタッフ	結核の高罹患地域に対する実態について、上司・関係市町村担当者に、発生数等の統計資料と実際に地域を訪問している中で、保健師として感じている問題を伝えることにより、課題を理解してもらえ、啓発等の事業化へとつながった。
5年以上15年未満	スタッフ	健康21計画にそって、市民や関係機関と健康づくりに取り組む中で、お互いの意向が見えにくく、意識の向上をはかる必要性があった。その際、担当として不安に思い取り組んでいない点を伝え、まずはインタビューを実施することとなった。今はそれを基にグループを編成し、活動を広めることができています。
5年以上15年未満	スタッフ	健康づくりについて会の中で議論する時間をもつことと

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	スタッフ	健康づくりの効果を出すために事業の期間、回数を考慮し、実施する都度、必要性について話しに盛り込む
5年以上15年未満	スタッフ	健康課題や住民のニーズを数値や実際の声などを分かりやすく示す。
5年以上15年未満	スタッフ	健康課題を解決する事の利益と、その実現性をわかりやすく示すこと。できればそのプロセスを関係機関等とともに行う。動いてもらいたい人が主体になるように。
5年以上15年未満	スタッフ	健康課題を具体時に示し、費用対効果を出し、短期目標を設定したこと。
5年以上15年未満	スタッフ	健康教育のテーマを選ぶ時、なぜ、そのテーマにしたのかなどきちんと根拠や考えを述べた上で、アドバイスをうかがう
5年以上15年未満	スタッフ	健康増進員を通じて地区の自治委員に健康教室の必要性を訴えてもらい、健康教室の開催にいたった。
5年以上15年未満	スタッフ	健康問題の提示、データの数値、グラフ化、具体的な企画書をわかりやすくプレゼンテーションすること。
5年以上15年未満	スタッフ	健診の実態をデータ化し、健康課題を明らかにする。予防活動を行うことで将来の医療費等削減できることを伝える
5年以上15年未満	スタッフ	健診後の健康教育で健診データを基にグループワークを行い、その後の再健診で効果が上がった。グループワークにより生活習慣改善の必要性を理解してもらった。
5年以上15年未満	スタッフ	検査データをきちんと整理し、必要性や有効性を示したから
5年以上15年未満	スタッフ	研修会の詳細を決めるにあたり、議義だけでなく、例年にはない参加者間の情報交換の時間をとり、共通理解を深め、また、他参加者の現状を知り、今後への参考としていただきたいと提案し納得していただいた。
5年以上15年未満	スタッフ	県が行うべき事業であることを示し、行うことで住民にとってメリットがある。さらに医療費を抑制することができるなどの県費用市町村費用削減のメリットを示す
5年以上15年未満	スタッフ	県や国の動きの中で地域の将来像を描き、地域の人材の少ない中で事業を展開できる方法として説明できた。
5年以上15年未満	スタッフ	現在の課に今年度より異動となり、活動の必要性について話し合ったことがありません。
5年以上15年未満	スタッフ	現実・現状を示し、その先どうなるか見通しを伝える。そこに生じる不利益を生じないための具体策を伝えることで、理解されたと思います。
5年以上15年未満	スタッフ	現場に出向き、その場でニーズに応じて対応すること
5年以上15年未満	スタッフ	現場の声を代弁する、介入しないままで起こりうるリスクの説明
5年以上15年未満	スタッフ	現状、見通し、社会情勢などを資料化して説明した。人脈、説得力、予算化、仲間
5年以上15年未満	スタッフ	現状データの表示。介入しなかった場合に予想されること。費用対効果。
5年以上15年未満	スタッフ	現状とあるべき姿を伝える
5年以上15年未満	スタッフ	現状とあるべき状況の格差を理解してもらったこと
5年以上15年未満	スタッフ	現状と課題、活動の目標と効果をわかりやすくまとめた資料と熱意をこめた説明
5年以上15年未満	スタッフ	現状と課題を一目でわかるように資料を用意する
5年以上15年未満	スタッフ	現状と課題を出しその事業の必要性を画面にて表し説明し納得してもらった。
5年以上15年未満	スタッフ	現状と課題を説明する
5年以上15年未満	スタッフ	現状と理想像を説明し、どうすれば近づけるか、そして自分がどの役割を担うか、負担になることを率先してやろうとしているかを説明すること。
5年以上15年未満	スタッフ	現状について数値であらわす
5年以上15年未満	スタッフ	現状のデーターを抽出し、分析した結果、課題を説明したこと。
5年以上15年未満	スタッフ	現状の共有、活動の必要性の確認と共有
5年以上15年未満	スタッフ	現状の説明を要点をまとめて短く話す
5年以上15年未満	スタッフ	現状の提示、予算、見込まれる成果、しなかった時の弊害とさらにかかる費用
5年以上15年未満	スタッフ	現状の統計的分析と補助金および補助率（10/10）
5年以上15年未満	スタッフ	現状の分析を行い、関係機関、住民組織のとらえている必要性を確認し、係内、庁舎内関係部署と話し合いを積み、アプローチ方法を設定できたこと。・必要経費をおさえ、新規事業として上部にプレゼンできたこと。
5年以上15年未満	スタッフ	現状の問題点と課題をだし、そのために必要なプログラム（教室 e t c）を作成、文章化することで、理解を得た
5年以上15年未満	スタッフ	現状をしっかりとまとめた資料を作成し、それを用いて課題と対策の説明がしっかりとできること。根拠と話術。
5年以上15年未満	スタッフ	現状をデータで示し、変化を理解してもらう
5年以上15年未満	主任・主査	高齢者施設の感染症対策について、施設内サーベイランスを実施することで、目に見える効果を示すことや予測ができることを体感してもらった。
5年以上15年未満	主任・主査	国の考え方を示し補助金などの財源があると納得を得やすい
5年以上15年未満	主任・主査	国の流れに沿ったものであること、緊急性が高いこと
5年以上15年未満	主任・主査	根拠あるデータで説明する
5年以上15年未満	主任・主査	根拠となるデータ（ニーズの高さ）を示し、意見を加味し、実行期限を示すこと

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	主任・主査	根拠のある説明と、一目でわかる資料
5年以上15年未満	主任・主査	子育て支援対策として、住民のニーズ調査や声をもとに母子の交流の場としてのイベントをするため実行委員会を立ち上げ、予算化できたこと。組織育成の事務局として活動評価をしてもらい運営補助金を増額
5年以上15年未満	主任・主査	市の現状を分析し問題提起する。問題解決の為に何をやる必要があるのかを関係機関等に話し合い検討する
5年以上15年未満	主任・主査	市の総合計画で目指す姿を達成するために、課題のある数値や住民のニーズの声を伝えていくこと。その効果的な手法を導き出し伝えること。
5年以上15年未満	主任・主査	市町村合併後、新規事業を計画する機会がなくなったので不明
5年以上15年未満	主任・主査	資料の作成、相談、くり返し説明等
5年以上15年未満	主任・主査	資料化と熱意
5年以上15年未満	主任・主査	事業の効率化
5年以上15年未満	主任・主査	事業内容の分かりやすい計画書を作成すること。PR方法を明確にすること。
5年以上15年未満	主任・主査	事前に自分の思い、必要性を雑誌の中で伝え、地区分析結果を利用して根拠を説明、達成目標を掲げたので理解してもらえたのではないかと。
5年以上15年未満	主任・主査	事例・地域の状況など分析を資料とする
5年以上15年未満	主任・主査	疾病統計をまとめ企画書を作成、仕様書を作成する。庁内・医師会と連携をはかる
5年以上15年未満	主任・主査	実績をグラフや表にして提示すること
5年以上15年未満	主任・主査	実態調査を行い、分析した結果から対策案を作成し、上司や関係機関、住民に説明した。（報告した）
5年以上15年未満	主任・主査	住民、行政、専門家とともに「地域のあるべき姿」を話し合っていく中で、上司及び対象市町村の上司と共に参加してもらい統括の役割を担ってもらえるよう働きかけたことと、担当者間の疑問や不安を話し合いを何度ももつことで差を縮めていった。
5年以上15年未満	主任・主査	住民との話し合い
5年以上15年未満	主任・主査	住民に対して、目でみてわかりやすいデータ・グラフ・演出・身近な問題から入っていく興味をもってもらうこと。
5年以上15年未満	主任・主査	住民のニーズを把握し、地域性にあった方法（効率的な）を提示し活動する
5年以上15年未満	主任・主査	住民の意見を聞きとり、データをまとめる。
5年以上15年未満	主任・主査	住民の生の声、統計データより課題と思ったことを示す。近隣の市町の実施方法も出すと通りやすい。
5年以上15年未満	主任・主査	上司には事柄について、細めに相談報告し、向うべき方向について理解してもらおう。
5年以上15年未満	主任・主査	上司の価値観
5年以上15年未満	主任・主査	状況の説明、密な連携
5年以上15年未満	主任・主査	新規事業をする際に、職場や関係課担当者、上司と現状について共通認識がもてるよう相談したり、検討したり、意見を取り入れながらすすめた。
5年以上15年未満	主任・主査	数値化する。
5年以上15年未満	主任・主査	地域の実情と課題をもとに活動によってどんな改善が可能であるか、具体的な説明（費用対効果含む）を行った事。あちこち関係機関に出向いて説明した事。
5年以上15年未満	主任・主査	地域の人口動態統計、疾病統計により事業の説明を行うことやその状況を改善するためには何が必要かを話しあうこと。自殺による死亡が多い状況を説明し、調査や健康相談必要であり実施するための予算を確保した
5年以上15年未満	主任・主査	必要性を感じている地域へ、方法や支援のツールを示すことで自主的な活動への一歩につながったが、地域のキーパーソンのところへ出向き、体験を踏まえて方向性を話したことが決め手になったと思う。
5年以上15年未満	主任・主査	必要性を数値化して資料をつくり説明する
5年以上15年未満	主任・主査	量と質の評価内容・他市の状況調査内容・国の動向等
5年以上15年未満	主任・主査	わかりやすいデータ資料の作成と説明。
5年以上15年未満	主任・主査	介護予防活動にて、その方が介護保険でサービスを利用された場合の比較
5年以上15年未満	主任・主査	現状と課題を上司に理解してもらうこと。
5年以上15年未満	主任・主査	現状を細かく分析しペーパーでまとめる
5年以上15年未満	主任・主査	現状を数値で示す
5年以上15年未満	主任・主査	現状報告と費用と効果について説明、モデルで行った内容等の参加者の声の記述を報告することにより、必要性を認識してもらった。
5年以上15年未満	主任・主査	効果を明確に数値化して示す。ある程度結果を予測する。
5年以上15年未満	主任・主査	国・県・管内のデータを示し、町の課題を視覚的に理解しやすいように準備する
5年以上15年未満	主任・主査	根拠となるデータから課題を示し、解決策を示す
5年以上15年未満	主任・主査	根拠となる資料を相手にわかりやすく作り、説明する
5年以上15年未満	主任・主査	根拠となる数値を含むデータを示すこと
5年以上15年未満	主任・主査	根拠となる法律、活動意義を文書で説明したこと。
5年以上15年未満	主任・主査	根拠をもった説明をする。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	主任・主査	根拠資料を作成し説明する
5年以上15年未満	主任・主査	市民のニーズ、同規模の自治体で行われている事業を提示する
5年以上15年未満	主任・主査	市民の状況と実施することで得られる効果。費用対効果・他自治体の状況
5年以上15年未満	主任・主査	死亡率・罹患率等、健診受診率等の統計資料、近隣市町村での実施状況、費用の積算等を示すことにより新規事業実施の理解が得られる。日常業務では、相談（連絡）、報告をこまめに行なう。
5年以上15年未満	主任・主査	視点（住民の健康課題や生活課題）と保健師の情熱（やる気）
5年以上15年未満	主任・主査	資料できちんと説明を行う。見通しをたてる。みんなで話し合う。
5年以上15年未満	主任・主査	資料を作成し説明（簡潔なもの）
5年以上15年未満	主任・主査	資料作成（地域の実態、声）
5年以上15年未満	主任・主査	歯科衛生士と協力して、1才～1才2ヶ月の歯の教室をすることにより、3才時でのむし歯り患率が下がり、母の歯周病予防意識も向上することを上司に理解してもらい、予算確保につなげた。
5年以上15年未満	主任・主査	事業の根拠となることを、実際の意見を取りまとめたことで説得できた
5年以上15年未満	主任・主査	事業の目的と具体的な内容を示した書類を作成すること
5年以上15年未満	主任・主査	事業を行うことで得られる効果を、具体的に説明した。（数字とすでにその事業を実施している地区の生の声などを伝えた。）
5年以上15年未満	主任・主査	事前の資料を準備、口頭だけでは説得できない、データの提示、住民の声
5年以上15年未満	主任・主査	事務職に理解してもらえる方法で記録を作成する
5年以上15年未満	主任・主査	自らが直接支援をするのではなく、技術・知識をもった専門職（医師や看護師、理学療法士、相談員等）と連携をはかり、調整すること
5年以上15年未満	主任・主査	自分が考える問題を提供し、本来あるべき姿と実態の差を明確にし、今すべき事柄を明らかにした
5年以上15年未満	主任・主査	自分の考えたまとめ、紙ベースで上司に示した
5年以上15年未満	主任・主査	実際に実施してアンケート等を行い評価を伝えること。（市民の満足度をアンケート結果を使用し伝える）
5年以上15年未満	主任・主査	実施計画と実績を提示し、効果をきちんと書面で提示することが説得できる資料になると思う。法的根拠もきちんとおさえる。
5年以上15年未満	主任・主査	実態を提示する
5年以上15年未満	主任・主査	実例をもとに説明すること
5年以上15年未満	係長以上	現状を納得できるまで説明し、なぜ必要か、関連づけて訴える。
5年以上15年未満	係長以上	現状を明確にすること、対象者のニーズを伝えること
5年以上15年未満	係長以上	行政である以上、経年比較で指摘されるが（インフルの経験により）、感染症の場合、昨年のインフルの様な突発的発生があった時に備えて、余裕を持つことが理解された。
15年以上25年未満	スタッフ	手段をふむこと。必ず頭出しをして、考えてもらうこと。多くの人をまきこむこと
15年以上25年未満	スタッフ	集会所単位に健康相談に出かけ交流すること
15年以上25年未満	スタッフ	住民が欲している内容を題材にしたこと。個人宛に通知したこと。
15年以上25年未満	スタッフ	住民に対しメリット・デメリット示し、費用を投入するだけの活動であることを説明。（上司がPHNなので…）
15年以上25年未満	スタッフ	住民に役に立つ、必要であることを、資料等を準備して行った
15年以上25年未満	スタッフ	住民の意見、実態を根拠とする。法整備に伴う根拠を示す。
15年以上25年未満	スタッフ	住民の声とデータ
15年以上25年未満	スタッフ	住民の声を聞き、住民の反応をわかりやすく伝える。
15年以上25年未満	スタッフ	住民の声を届ける、医療費の分析
15年以上25年未満	スタッフ	住民の方と一緒に活動し、お互いの意志の確認を図る。具体的な数値。
15年以上25年未満	スタッフ	住民の立場に立った支援の必要性、優先度の高い事業であることを理解してもらうこと。
15年以上25年未満	スタッフ	住民自身が自分の問題として健康課題をとらえ、自主的に改善する為の活動を行ない継続していること。
15年以上25年未満	スタッフ	住民組織と地区の現状・住民の声を資料化し、頻回に話し合った
15年以上25年未満	スタッフ	住民組織の核となる人に理解を得る
15年以上25年未満	スタッフ	住民団体（老人クラブ等）を対象に、介護予防の話をする際、介護保険のしくみ、費用を説明してから、介護原因と予防について話をした。
15年以上25年未満	スタッフ	上司と障害者団体との話し合いの場を設け、施設誘致必要性をわかってもらった・一緒に見学をすることで、必要性をわかってもらった
15年以上25年未満	スタッフ	上司には紙1枚に写真 e t c を入れ、わかりやすくまとめる。住民組織には、日頃の信頼関係があること
15年以上25年未満	スタッフ	上司に伝えるには事例を分析して変化と効果について説明する。他は最近経験なし
15年以上25年未満	スタッフ	上司も必要性を感じていた。上司が首長に直接かけあってくれた。
15年以上25年未満	スタッフ	情報やデータを収集し、資料を作成して説明に使った。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	スタッフ	新規事業を事前に住民組織に話しておき、公的な場で正式に地域役員会で説明。その後学区PHNが学区役員に再度説明して→OKとなりました。
15年以上25年未満	スタッフ	数・データをわかりやすくまとめて視覚に訴えることと、事例を集めて具体例を示す。両方の訴え方。
15年以上25年未満	スタッフ	数で示す。事例だとむずかしい。
15年以上25年未満	スタッフ	数字などのデータで示す。客観的に記述すること。メリット・デメリットの提示。目的の明確化。
15年以上25年未満	スタッフ	数字や目でみてわかる資料づくり。自信を持って熱意を持って説明すること。
15年以上25年未満	スタッフ	数字や目で見える効果を示すこと
15年以上25年未満	スタッフ	数値データの提示から課題を明確に示す。先進地、モデル事業の結果から課題解決に向けて効果のあるとりくみ、必要性の高い取り組みということを理解してもらう。
15年以上25年未満	スタッフ	数値で示す
15年以上25年未満	スタッフ	数値による提示
15年以上25年未満	スタッフ	数値を示す。住民の声を具体的に示す
15年以上25年未満	スタッフ	数値化し改善することを伝える
15年以上25年未満	スタッフ	数値結果（科学的根拠）、説明方法と熱意
15年以上25年未満	主任・主査	地域住民の実際の声や事業の実態を統計でまとめ提示した。
15年以上25年未満	主任・主査	地域診断をし、グラフや表にまとめ、会議や連絡会等、常に健康課題を発信し、意識してもらえよう働きかけること
15年以上25年未満	主任・主査	地域診断を実施し、問題点を明らかにした資料を作成し、説明する。
15年以上25年未満	主任・主査	地域内の資源を調べ・まとめ、地域内のニーズを調べ・まとめ、他地域の現状を調べ・まとめ→これらを文書にして話し合いの場をもつ
15年以上25年未満	主任・主査	地域保健福祉活動のまとめ・日常の家庭訪問記録・カンファレンスの内容、結果・健康教育、準備、反省会を含む
15年以上25年未満	主任・主査	地区に住む子育て中の母子に、「地区内の子育て支援情報の活用状況やニーズ」を把握するためのアンケートを実施し、その結果を地域の関係機関に情報提供し、今後の地区内子育て環境の向上につなげたいという考えを、コミュニティアを用いて説明し、上司に納得してもらえた。
15年以上25年未満	主任・主査	地区の現状や課題をわかりやすく説明する
15年以上25年未満	主任・主査	地区の現状を具体的に示す
15年以上25年未満	主任・主査	地区の状況の共有して、互いに問題意識をもつこと
15年以上25年未満	主任・主査	地区の状況を資料として、そこから分析できることを説明し、必要性を伝えていったこと
15年以上25年未満	主任・主査	地区の代表者、社協の担当者と事前の協議を重ねること
15年以上25年未満	主任・主査	地区の長（区長・民生委員）などへ活動の説明をすることで、活動への協力が得られた。
15年以上25年未満	主任・主査	地区の特性、住民ニーズ、活動がもたらす効果、活動を行うための財源や人材・社会資源、根拠となる法令、等
15年以上25年未満	主任・主査	地区課題を分析データを示し、説明する
15年以上25年未満	主任・主査	地区活動から感じている課題や住民からの意見をまとめ、施策の中にあてはめて他のスタッフに理解してもらえよう様、説明する。
15年以上25年未満	主任・主査	地区活動実績を住民ニーズと促え、資料を作成。事業化の根拠にした。
15年以上25年未満	主任・主査	地区住民のうち8割近くがHbA1c高値で放置していることを知り、訪問したこと
15年以上25年未満	主任・主査	地区診断をした結果、地域の現状や問題点を提示することで、今何をしていけばいいかを提案すること
15年以上25年未満	主任・主査	地区組織の協力を得ながら実施する事業を開始するにあたり、関係組織の代表者へ事業の概要や実施する必要性と効果について資料で示し、説明した結果、了解が得られ実施することができた。
15年以上25年未満	主任・主査	地区調査をきちんと実施し、市民や上司に理解しやすいグラフや表に示した事や、外部から目的とするテーマの講師（アドバイザー）を入れ、皆で研修会を開催した。
15年以上25年未満	主任・主査	町の実体を経年的に数字で示すこと（医療費分析など）
15年以上25年未満	主任・主査	町の実態（数値指標）を示し、関連させ、そのことを根拠に将来予測をしたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	直接住民組織とのやり取りではなく、組織の主軸となる者に事前に説明し理解を得ておく。活動をはじめている組織の代表者に話に加わってもらう。
15年以上25年未満	主任・主査	的確な資料①費用対効果を示す資料②統計の分析③国の指針
15年以上25年未満	主任・主査	適切な情報提供と、報告・連絡をとったこと
15年以上25年未満	主任・主査	当方の熱意
15年以上25年未満	主任・主査	統計データ、国の動向など
15年以上25年未満	主任・主査	統計データと他の市町との比較
15年以上25年未満	主任・主査	統計データを用い、自分の担当地区と他の地区を比較したり、経年で比較したグラフを作成し、説明すること

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	主任・主査	統計資料、他との比較、地元の求めていることは何か、予算、実現の可能性（メリット、デメリット）、必要性
15年以上25年未満	主任・主査	統計資料、地区の実態がわかる資料による説明
15年以上25年未満	主任・主査	統計数値を表わしそれが関係機関等の問題意識と一致
15年以上25年未満	主任・主査	統計的に言えること及び費用対効果を提示することが大切
15年以上25年未満	主任・主査	動きを説明し、課題や具体策も含めて共有してもらうこと
15年以上25年未満	主任・主査	特にポピュレーションアプローチについて上司（保健師）に説明するが、ハイリスクのみ目が向いており、丸投げされることが多いのでほとんどない。地域については、特定健診受診率の低さや推移をグラフで説明することで納得してもらえた。
15年以上25年未満	主任・主査	特に住民組織へは、回数を重ね調整を計ってきた。
15年以上25年未満	主任・主査	内容が法に基づくものかなどの根拠性を明確にする。・実施方法などがやりやすいものか明らかにする。・予算を明らかにし実施の可能性を図れるようにする。
15年以上25年未満	主任・主査	日頃からそれとなく上司に相談していたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	日頃からのコミュニケーション（時間の許すかぎり地区へ出る）
15年以上25年未満	主任・主査	日頃からのコミュニケーションだと思う。報告、連絡、相談を重ねることで信頼関係を築いていくこと。
15年以上25年未満	主任・主査	日頃から顔の見える関係づくり。関連情報をタイムリーに提供しておくこと。
15年以上25年未満	主任・主査	日頃のコミュニケーションと根拠性を伝える
15年以上25年未満	主任・主査	日頃の活動からの関係が、信頼となって活動できることが多いと思います
15年以上25年未満	主任・主査	日頃の活動内容を日頃から伝えておく。変化のあったことを伝える。財政効果を試算する。
15年以上25年未満	主任・主査	日頃の業務で得た地域のニーズを、根拠を示した上で説明した。
15年以上25年未満	主任・主査	日々の活動の報告や経過を伝え、担当としての動向を知らせておくことで、必要性は伝わり、協力関係ができていると思います。
15年以上25年未満	主任・主査	認定調査後の思い違いのため発生したトラブルに対して、早期に周囲の働きかけを行ない、再度自宅に伺い、相手の話に耳を傾けた。早期対応と課内の意見交流の実施
15年以上25年未満	主任・主査	納得するまで説明することと根拠を指し示すこと
15年以上25年未満	主任・主査	納得に値する説明を簡潔にして、理解してもらえたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	背景や根拠を明確にでき納得。計画に位置づいた活動を確認し自信→エンパワーメントされて活動の拡がり
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果、現状を理解してもらうこと
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果がよいと説明すること
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果に関する資料の提示。現状からこの取り組みをすることで数年後の先を見越した予測を示す、資料の提示・活動の必要性を示す資料の提示とわかりやすい説明
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果をお金で換算した。
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果を示す
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果を数字で示すこと。市民の声をアンケートをとり、訴えていく。
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果を明確に説明すること
15年以上25年未満	主任・主査	必要とする理由と実施した事によるメリットを説明する。（具体的な事例を挙げて説明する。）
15年以上25年未満	主任・主査	必要と思われる活動について、理解を求めたい人に直接会って話をしたり、確実なルートを通して現状を伝え、考えてもらうことで、期待していた事業として確立されたり、今後の取組みの課題として考えてもらえるようになった。相手にとって訴えていった内容は、ある程度、必要な事と認められるコンセンサスが得られやすい時代になってきているもので、あと一押しで良かったのかもしれない。
15年以上25年未満	主任・主査	必要なデータをそろえ、コミュニケーションを充分にはかること
15年以上25年未満	主任・主査	必要な根拠を明確にすること
15年以上25年未満	主任・主査	必要な状態を示す統計データと住民の声をまとめた企画書を説明し、担当者として率先して動いたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	必要性についてまとめた資料を作成・説明する。
15年以上25年未満	主任・主査	必要性の根拠となる統計資料、予算の積算根拠を示し成果目標、効果について資料により説明
15年以上25年未満	主任・主査	必要性を裏づける根拠データ、住民のニーズを明確にする・めざす目標、具体的な活動内容を
15年以上25年未満	主任・主査	標準化
15年以上25年未満	主任・主査	頻回に地区をまわり訪問すること、そして結果、良い方向に向くこと。
15年以上25年未満	主任・主査	分かりやすい資料、簡潔明瞭な説明、熱意
15年以上25年未満	主任・主査	分かりやすい資料、丁寧な説明
15年以上25年未満	主任・主査	文句を言われながらも活動に参加してもらったところ、イメージがいたらしく納得してもらえた。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	主任・主査	保健師ができること、できないことを相手に伝え、役割分担を明確にするよう動いたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	保健師がどのようにしたいのか、ということを素直に伝える
15年以上25年未満	主任・主査	保健師として感じたことをデータにおとして分析し、目に見える形とした
15年以上25年未満	主任・主査	保健師の活動を実際にみてもらうこと（教室等に参加してもらう）
15年以上25年未満	主任・主査	保健師の人数増加のため各業務を時間にして算出し、保健師の必要性を訴え人員増につながった。
15年以上25年未満	主任・主査	保健師一人で抱えるのではなく、関係機関を巻き込んですすめること。（民生委員の全体会議に出席し「ふたごの会」の必要性について住民の声を伝え、協力をお願いした）
15年以上25年未満	主任・主査	保健師活動より閉じこもりがちな高齢者が多いだろう…ということよりアンケート（聞きとり）調査を実施、評価して予算をとり閉じこもり予防の会を立ち上げた。
15年以上25年未満	主任・主査	保健師間の共通理解、市民の声の市政反映
15年以上25年未満	主任・主査	保健補導員会の活動の一環で、町の行事（他課主催）に参加、集客力upと行事の盛り上げ、補導員自身の負担軽減等を訴えたこと
15年以上25年未満	主任・主査	保護者の意見（住民）をよく聞き、困っていることをよく聞いて行う
15年以上25年未満	主任・主査	方的概去、他市町村との統計データ、費用対効果など
15年以上25年未満	主任・主査	法的には実施は努力義務であることと、過去の健診結果を集計し、市としての健康課題であることの両方を資料で示し、保健師間だけでなく財政担当課とも協議したこと
15年以上25年未満	主任・主査	法的根拠、現状の課題の数値、グラフ化した資料の提示、具体的な取り組み方法や期待できる効果、費用対効果の資料提示と説明、住民の意見・声を調査し資料として提示したことが特に決め手となった
15年以上25年未満	主任・主査	法的根拠、他自治体の取り組む方向性や費用の裏付け
15年以上25年未満	主任・主査	法的根拠・健康問題について、きちんとしたデータを示したこと
15年以上25年未満	主任・主査	法的根拠と対象者の現状を適確に伝え、課題を説明できたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	法的根拠の説明・予算と費用対効果の説明をきちんとすること
15年以上25年未満	主任・主査	法的根拠や実態を示すデータ、改善案をA4 2枚程度でわかりやすくプレゼンする。事前の根まわし。
15年以上25年未満	主任・主査	法的根拠を示す・事業の見通しを説明する・期待出来る効果の予測値を示す
15年以上25年未満	主任・主査	未経験であるため未記入
15年以上25年未満	主任・主査	民生委員に「高齢者の閉じこもりを防止する活動」の予算が保健所にあることを説明した。
15年以上25年未満	主任・主査	明確な資料と説明
15年以上25年未満	主任・主査	目でわかるようなわかりやすい資料を作成し、熱意をもって説明する。
15年以上25年未満	主任・主査	目で分かる資料を作成し、他のデータと比較する。
15年以上25年未満	主任・主査	目的、計画等を具体的に説明すること。
15年以上25年未満	主任・主査	目的、必要性を明確に表現し、伝えること
15年以上25年未満	主任・主査	目的・対象・内容・対果・費用対効果などを明文化し（文章、資料化）実施しない場合のデメリットをタイムリーに伝える。
15年以上25年未満	主任・主査	目的・法的根拠・効果をきちんと示し、熱意をもってあたること。住民と信頼関係をきざくこと。
15年以上25年未満	主任・主査	目的や具体的な目標を明確にして、取り組むことで、どのようなメリットがあるのか、満足度があるのかを繰り返し周知、啓発することが必要性を理解してもらうためには大切だと考えます。
15年以上25年未満	主任・主査	目的をしっかりと伝えること・わかりやすい図表等で表現すること・効果まで説明すること
15年以上25年未満	主任・主査	目的をはっきり説明する。資料を準備する。直接会って話をする。
15年以上25年未満	主任・主査	目的を伝えること。
15年以上25年未満	主任・主査	目的を明確にする。事例の紹介。わかりやすい資料の提示
15年以上25年未満	主任・主査	目的を明確にすること
15年以上25年未満	主任・主査	目的を明確に示すこと（めざしている姿）。話し合う過程でのプレゼンテーション能力。
15年以上25年未満	主任・主査	目的目標を明らかにすること・できるだけ客観的わかりやすく活動方法を示す
15年以上25年未満	主任・主査	問題になっていることを明確に伝えることが決め手だと思います。例えば健康教育であれば全国的に罹患率が増えていること等。他の地区（似たような特性を持つ地区）で成果があった活動であることを示すのも有効だと思います。
15年以上25年未満	主任・主査	問題の明確化
15年以上25年未満	主任・主査	問題点、目的を明確にすること。具体例をあげて説明すること。
15年以上25年未満	主任・主査	問題点をデータとして数値化、グラフ化して伝わりやすいように工夫した
15年以上25年未満	主任・主査	問題点をできるだけ数値化する。関係（協力）機関を見極め、問題点を共有化する。
15年以上25年未満	主任・主査	問題点をとりあげ、その1つ1つに対して対策方法をかき出す。現状をわかりやすく、対象者の声をそのまま紹介する。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	主任・主査	問題点を明確に伝える事、解決方法の提示、共に解決に向けて働きかけるための協働体である意義を働きかけた事
15年以上25年未満	主任・主査	予算の確保（費用対効果）、実現性、住民や議会の要望、TOPの考え
15年以上25年未満	主任・主査	予算を確保すること。関係機関と頻回に連絡をとり、現状を伝えたこと。（特に住民の声）
15年以上25年未満	主任・主査	余計な手間がさほどかからないこと。効果が期待できること
15年以上25年未満	主任・主査	要の人（キーパーソン）に納得・理解してもらえよう努めること。こまめな連絡、資料作り（納得してない部分等）
15年以上25年未満	係長以上	数値等のデータの裏づけを示すこと
15年以上25年未満	係長以上	数的なデータ（アンケート結果などを集計したもの）
15年以上25年未満	係長以上	数的根拠を示したことで、それにより問題を明確にしたこと。活動後の効果を伝え理解いただいたこと。
15年以上25年未満	係長以上	世の中の動き、地域課題の把握と分析（わかりやすいデータを図表で示す）先進地の取り組み状況と成果を紹介、活動のキーパーソンとなる人材と知り合い、一緒に動いてもらったこと、話し合いのつみ重ね等
15年以上25年未満	係長以上	成果・変化がひと目でわかる資料の作成、簡潔明瞭なプレゼンテーション
15年以上25年未満	係長以上	正しい根拠に基づき、はっきりとした目的を示す。その活動をする上でのメリットを伝える。
15年以上25年未満	係長以上	精神のPHNはほぼワーカーさんのような仕事内容ですが、それに加え、保健所ができること（したいこと）を法に基づいて説明し、プラスメッセージを与えること。
15年以上25年未満	係長以上	精神障害者のシステムづくり
15年以上25年未満	係長以上	説明のくり返し。それと、とりうえずやってみる。
15年以上25年未満	係長以上	説明のつく資料。数値・グラフ等で訴えられるもの。
15年以上25年未満	係長以上	前年度の地区の問題点（発生事例）をもとに対策として案をだした
15年以上25年未満	係長以上	前年度実績を分析し、事業の内容等を検討しあうところからはじめることで、住民組織から必要性を考えてもらうことにつながった。
15年以上25年未満	係長以上	訴えたいことをA4、1枚にまとめる
15年以上25年未満	係長以上	相互のメリットを図で示す資料を用意し、説明したこと
15年以上25年未満	係長以上	相手が何を求めているか明確にすること。・仲間、他職種との連携を密にすること。
15年以上25年未満	係長以上	相手が納得できる理由をわかりやすく伝えること
15年以上25年未満	係長以上	相手が聞く気になる資料、根拠（データ）、場面設定、説明者等を事前にリサーチし、対象者の特性に沿って説明する。
15年以上25年未満	係長以上	相手との関係を築き、お互いの役割について確認すること。
15年以上25年未満	係長以上	相手の仕事、立場の理解と困り事の共有をしていくこと。
15年以上25年未満	係長以上	相手の反応を確かめながら具体的内容で伝えること
15年以上25年未満	係長以上	相手の立場に立って考えたことを示すこと。その上で必要とされるデータ案を示し、一緒に考える姿勢を大切にすること。
15年以上25年未満	係長以上	相談に来た障害者に長時間かけて丁寧に対応することで、本人が納得して（落ちついて）帰ったこと。
15年以上25年未満	係長以上	足を運び、意見を伺いながら理解を得ていく
15年以上25年未満	係長以上	他の県内保健所の実状を示す。住民へのアンケート調査（意識調査）
15年以上25年未満	係長以上	他市に比べてどうか。法の解釈。地区組織の方々や地域の声を具体的に示す。
15年以上25年未満	係長以上	他市町村での実施状況について示す。数字で示す。
15年以上25年未満	係長以上	他地域における有効な取り組みの情報収集、提示と関係機関の現状課題のすり合わせをまず担当者同志がしっかり行うこと
15年以上25年未満	係長以上	他地区や県との比較資料の作成（生活習慣病、特定健診について）
15年以上25年未満	係長以上	他町との比較、実施のメリット、実施しない場合のデメリット、町民にとってそれが必要と判断できる健康課題や地域特性の説明
15年以上25年未満	係長以上	対応困難なケースについてはアセスメント・今後の対応について個別に上司の決裁を得て対応
15年以上25年未満	係長以上	対象とする人に分かる言葉で、過去の経験に照らし合わせることができるか、もしくはイメージできるように伝えたこと
15年以上25年未満	係長以上	対象の健康課題を明確にし、その上で実施したい事業を伝えたこと。対象者自身をまきこんだこと。
15年以上25年未満	係長以上	対象の健康課題を明確化して、活動の必要性を提示する。健康課題を明確化するにあたり、対象者から聴取した生の声をいかに。
15年以上25年未満	係長以上	対象の現状を分析したものをしっかり伝えること。その分析を元に解決のための具体策が身近なものを具体的に示せることが大事。
15年以上25年未満	係長以上	対象者から課題と感じていることを聴いてまわる。集めた情報をわかりやすくまとめる。
15年以上25年未満	係長以上	対象者と共に活動の必要性を決定していく。裏づけるデータの提示

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	係長以上	対象者に関する支援者が、連携をはかること
15年以上25年未満	係長以上	地域データや活動根拠を分かりやすく資料化すること。また、資料を出すタイミングも大切であると思う。
15年以上25年未満	係長以上	地域での課題やニーズをデータ等で示し、必要性を説明する
15年以上25年未満	係長以上	地域に出る回数を増やし、住民の声を聴く。
15年以上25年未満	係長以上	地域のニーズを把握し、住民と一緒に活動する
15年以上25年未満	係長以上	地域の課題を明確にし説明する
15年以上25年未満	係長以上	地域の健康課題を具体的に数字で示す。実際の事例について相談し理解を得る
15年以上25年未満	係長以上	地域の健康課題を図表で示す。課題に基づいた活動計画を示す。その際、目的を明確に示すのが最大のポイント。活動計画はより具体的に示す。合わせて必要な時間数とマンパワーも数値で示す。
15年以上25年未満	係長以上	地域の健康課題を明確にし、わかりやすく図表化して示す。事業の目標を明らかにしてめざすゴールを示す。
15年以上25年未満	係長以上	地域の現状や県・全国と比べたデータを示し、今後どうありたいか具体的な方法を示す資料を作成し説明する
15年以上25年未満	係長以上	地域の実情をデータとして示し、その上で対象者となりうる人々の生の声を収集し提示。試行的な事業を実施し、必要性をアピールした。
15年以上25年未満	係長以上	地域の実状に応じた活動、地域住民の協力を得られるものだったから。
15年以上25年未満	係長以上	地域の実態をデータ化し、視覚でわかりやすい資料
15年以上25年未満	係長以上	地域の人の意見をたくさんひろいあげて、又、現状をわかりやすく数値化してしめす。日頃から話題にしておく。
15年以上25年未満	係長以上	地域の特性をデータを示すこと。住民の声を示すこと。住民の要望を関係機関全体で受けとめ共有検討すること。
15年以上25年未満	係長以上	地域住民からの生の声
25年以上	スタッフ	理解しやすい資料と具体的な説明
25年以上	スタッフ	理由と効果を具体的に説明する。相手が理解できる言葉で伝える
25年以上	スタッフ	理論づけた資料を会議の中で報告すること
25年以上	スタッフ	裏づけとなる法的根拠、データ等
25年以上	スタッフ	裏付ける根拠（データ・事柄など）、熱意で説明（今後に期待や変化）
25年以上	スタッフ	量的データ、質的データ、ナラティブな表現をくみあわせて、あるべき姿を現状のギャップと、それを縮める手段を示す
25年以上	主任・主査	数値や基礎となる根拠がある時
25年以上	主任・主査	数値的な評価等、目に見える資料。活動の現場にひきこむ。
25年以上	主任・主査	数値的な物を出すと説得力がある
25年以上	主任・主査	精神保健法34条移送：訪問・面接をくり返し、調査書を作成（アセスメント等）。
25年以上	主任・主査	誠意を持って関わること。
25年以上	主任・主査	説明資料を効果的に作成する。直属の上司に説明して理解を十分得ると、その上の上司や財政課の予算がとれる。
25年以上	主任・主査	前回までの結果、前回参加者の意見等を伝えた上で、今回の改善点（必要性）を伝えたこと
25年以上	主任・主査	対象ケースについて把握した状況を整理して伝える。対象ケースが過去に経験したエピソードから関連する発言をまとめる
25年以上	主任・主査	対象者にとっても必要性を伝え、それを取り入れた場合とそうでない場合、現状を伝えたことが決め手だったと考える。
25年以上	主任・主査	担当地域において、出張相談（高齢者）に来所されない地域があり出張相談箇所を増やすことを上司に説明。地域へは老人会を介してつながりをもった
25年以上	主任・主査	地域のデータを図で示す。市民の声で健康課題を表現する。
25年以上	主任・主査	地域の課題とその解決策について、図表を作成し、具体的な例をあげて説明した。
25年以上	主任・主査	地域住民と目標を同じにすること、地域住民に理解されること
25年以上	主任・主査	地域住民の意見をつみ重ね、課題と解決策を協議した時に活動の必要性がおのずとわいてきた。
25年以上	主任・主査	地区データを視覚的に示し、直接お会いして説明する。
25年以上	主任・主査	地区分析し地域の問題点・課題を明確にする、図表化し説明する
25年以上	主任・主査	統計、実績等の事実の積み上げの資料を媒体として説明を行った
25年以上	主任・主査	日頃からのコミュニケーション、関係の形成
25年以上	主任・主査	日頃から問題を共有すること
25年以上	主任・主査	認知症予防の必要を地域内の住民組織に働きかけ教室を4か月間開催して、その後、自主的活動グループに継続させた
25年以上	主任・主査	熱意と資料づくり
25年以上	主任・主査	熱意をもって目標を示すこと

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	主任・主査	媒体を見やすく
25年以上	主任・主査	肥満者を対象に成人病（生活習慣病）予防教室を開催するにあたり臨床医に予防活動であることと、対象レベル（治療中者除く）を明確に示したこと。事業内容を示し理解を得られた。医師の了解が得られた後、目的を明記して対象を募集。かなりの年数継続した。好評により。
25年以上	主任・主査	費用対効果
25年以上	主任・主査	費用対効果と実働時間と成果について図表化することが効果あった
25年以上	主任・主査	費用対効果をわかりやすい資料で説明する
25年以上	主任・主査	必要とされていたタイミングで支援が提供できたこと。
25年以上	主任・主査	必要な場所と人を提供し、そこで活動できるようにした
25年以上	主任・主査	必要性だけではなくどうするのか、具体的提案を考え、相手に納得してもらうよう表現方法を考える。
25年以上	主任・主査	必要性の根拠、それを行うことでどのように効果が得られるのかを明確に示すこと
25年以上	主任・主査	必要性の根拠を数値プラス活動実績等で表す。活動の目標、方向性を関係者に投げかけ一緒に考えてもらう。
25年以上	主任・主査	必要性の理論武装
25年以上	主任・主査	必要性をデータで示す。
25年以上	主任・主査	必要性を資料にまとめて説明
25年以上	主任・主査	必要性を説明できる資料の準備
25年以上	主任・主査	保健師の思いが先行することなく、住民組織の熟成を見極め、保健師より地区のデータを提示した。
25年以上	主任・主査	補助金事業で全市町への活動の必要性のプレッシャーがあったこと
25年以上	主任・主査	母子保健推進員への服命研修を行い、わかりやすい説明と自分自身の学びをまとめて伝え、学びへの自分の意欲を伝えたとき、次回研修への参加希望者が増えた。
25年以上	主任・主査	法的根拠・緊急性・必要性等を関係機関の代表者等に相談し、納得をしてもらい、段階を経て実践していく（仲間の共通理解は当然）
25年以上	主任・主査	法的根拠を示す。議員や外部団体からの要望があった場合。
25年以上	主任・主査	明確な目的とその効果を的確に説明できること
25年以上	主任・主査	目でみえる形の資料、媒体等を提示すること
25年以上	主任・主査	目的、意義を説明すること
25年以上	主任・主査	目的とその効果が明確であること。実際に体験してもらうこと。
25年以上	主任・主査	目的と効果を数などで表現
25年以上	主任・主査	目的の明確化、効果の検証
25年以上	主任・主査	目標目的を明確に示し説明した。熱心に一生懸命に取り組んだ。
25年以上	主任・主査	問題（課題）となっている事実を数値で示す。また、説明対象者の日ごろからの思いが裏付けられるデータや資料の準備。具体化した活動のイメージ、それによる期待される効果を示せること。
25年以上	主任・主査	問題が何にどれ位影響を与えるか、図表に示し、機会を捉えて説明すること。
25年以上	主任・主査	問題点がわかりやすいようデータから伝えやすいものを選ぶ。（ウソのデータという意味でなく、多くの数からわかりやすい内容をという意味）
25年以上	主任・主査	理解のある上司、ふだんから地域の社会資源が少ないことや、必要性について話ができる
25年以上	主任・主査	例えば、検診の受診者数と受診率の変化、および、その地域における問題点をデータ化し目標ラインに対してどうだったかを知らせた時
25年以上	係長以上	論理的な説明
25年以上	係長以上	話しあい、他愛もない会話を続け、信頼関係をつくる
25年以上	係長以上	話しあいをしながら目的に向けて一緒に活動する。活動後の効果（成果）の見通しを持ってもらう。
25年以上	係長以上	話し合い（問題の共有化、目標の統一）→信頼関係の構築、時をつかんで働きかけたこと。以上2つが決め手。
25年以上	係長以上	もたらせる効果を明確にする
25年以上	係長以上	やはり根拠となるデータ等収集していくことと、予算についても根拠のある見通し立った数字を出し説明したからでは？
25年以上	係長以上	わかりやすい資料で説明する。誠意と情熱
25年以上	係長以上	わかりやすい資料の提示（実態、方向性を具体的に示す）。GW等意見交換を重ねる。
25年以上	係長以上	わかりやすく簡潔に。数値化と視覚的に
25年以上	係長以上	愛育委員活動において、子育て支援活動において、自主的な活動が広がりを見せたこと（がん普及・個別訪問）
25年以上	係長以上	医師会の協力
25年以上	係長以上	一つの事業だけで考えるのではなく、活動の全体像と対策について大まかに説明し理解を得る。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	一緒に現場に行く、説明する（法に基づき）
25年以上	係長以上	一目瞭然な紙ベースの資料の作成、足を運びフェイス to フェイスで話すこと
25年以上	係長以上	何度も説明する
25年以上	係長以上	何度も話し合いをし共通理解を求めたこと。
25年以上	係長以上	課題 or 目標の共有
25年以上	係長以上	課題とそれに対する対策を端的に分かりやすくまとめる。
25年以上	係長以上	課題について管内の現状を聞き取り又は文章化で見えるものにする。実施前後のアンケートにより意識や行動（予測）の変化を把握し上司に報告する。
25年以上	係長以上	課題の明記と評価の提示
25年以上	係長以上	課題をまとめ、どのような施策が可能か、どの程度の予算が必要か効果、他市で実施している状況説明をすることで理解が得られる場合が多い。
25年以上	係長以上	課題を明らかにし、実現可能な方法を説明すること
25年以上	係長以上	過去のデータと研修で得た先駆的な取りくみをしてる実践報告などを見て、必要性を訴えました。
25年以上	係長以上	街かどHIV検査を初めて行なう時にNPOとの協働の必要性を上司に理解してもらった。NPOの会議にオブザーバーとして出席し協働の具体的方法を提示したことがよかったと思う。
25年以上	係長以上	該当する経験がありません。
25年以上	係長以上	各機関との連携が必須（色々な職種の連携）
25年以上	係長以上	活動に取り組みないことで、どんな不利益等が起こるかを理解してもらうこと。
25年以上	係長以上	活動による対費用効果を示したこと
25年以上	係長以上	活動の必要性について、計画案として整理した文章を作成すると理解を得やすいと思う。また、日頃からの報告・相談は大切だと思う。
25年以上	係長以上	活動の必要性をわかりやすい図表や項目にまとめた資料にして提示し、説明する。その中でさらに求められる追加資料は早急に対応し取り組む姿勢を伝える。
25年以上	係長以上	活動の必要性を伝えるまえにまず相手方に出向き、各々の現状や課題を理解した上で何ならできるのか、相手方と共に考える姿勢をもつ
25年以上	係長以上	活動の目的、その効果を文章だけでなく、データや表で示す。・住民の場合は、スタッフ間で入念な打ちあわせが基本。有識者の講演等による事前勉強会等も有効だった。
25年以上	係長以上	活動の目的や、それを達成するための根拠などをわかりやすく書類に示した上で、熱意をもって説明すること
25年以上	係長以上	活動の目的を明確にし、資料などの媒体を使いながら話し合いを持つこと。
25年以上	係長以上	活動をすることにより、どのような結果が予測できるかをわかりやすく伝える。低予算で。
25年以上	係長以上	活動を行うことでどのようなメリットが予測させるのかを、専門用語でなく一般的に理解されやすい言葉で説明した。
25年以上	係長以上	関係するデータの提示を読み取り
25年以上	係長以上	関係課を招集した会議を開催
25年以上	係長以上	関係機関と事前に情報共有し、意見や課題を共有した上で計画をより具体化させたこと。
25年以上	係長以上	関係機関と同じ問題意識を持って、決定機関に説明できた
25年以上	係長以上	関係者に集まってもらい説明会をもち、意見を聞き、協議する。
25年以上	係長以上	既存の資料の提示と地域の現状についての説明をおこなったこと
25年以上	係長以上	期待させる効果及び行わなかった場合のデメリット及び、対象についてなぜその方法を選択したかということ、データや論理も用いて説明する
25年以上	係長以上	客観的データを示しつつ、こちらの熱意を伝えていく。
25年以上	係長以上	客観的データを示す。活動目標・計画・方法を理解してもらえるように伝える。活動に取り組みもうとする熱心な姿勢。
25年以上	係長以上	客観的なデータ（経年、他市や県等との比較など）を示すこと。必要性を文章化すること。
25年以上	係長以上	客観的なデータをわかりやすく資料化する・接点を密にして人間関係を良くする
25年以上	係長以上	客観的に納得できるデータを集めて、国などの動向と町内の現状分析を行い、その必要性和効果さらには実施方法まで説明する。何度も。
25年以上	係長以上	客観的事実と、今後の予測を見やすい媒体で提示、活動しなかった場合の、上司には今後の不利益の提示。
25年以上	係長以上	緊急度や家族（キーパーソン）、本人の意志や地域の健康を見守る人の意見（民生委員、主治医、学校関係者）の意見を総合的に検討する事が大事
25年以上	係長以上	具体的な数値を示すことが必要。検診関係においては、対象者を明確にし、年代毎の受診状況・がん発見状況を示し、医療費の状況を示すことがわかりやすい。
25年以上	係長以上	具体的な目標値を設定し、それが達成されることを示す
25年以上	係長以上	経年のデータと市民の意見をまとめて提示

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	経年的な実績や評価を資料として示すことや、現場で関わっているケースとの実際をまず知ってもらうこと
25年以上	係長以上	計画性と効果
25年以上	係長以上	健康づくり計画策定－資料を使った説明と予算積算説明。県下で早い方であった。国の10割補助を申請する。これが決め手だった。
25年以上	係長以上	健康データを収集し、まとめ、分析し、地区診断を行なう。その上で健康課題を明確にし、解決方法について提案する
25年以上	係長以上	健康課題のデータや事業の目的、内容をわかりやすい資料にして配布、説明した。
25年以上	係長以上	健康課題の明確化（国・県数値との比較データの提示）
25年以上	係長以上	見やすい資料を示す。専門用語ではない言葉で説明する。
25年以上	係長以上	現在の健康課題を、関係者の生活体験から納得できる状況説明をすることで、介入後の改善（悪化予防）のための目標を共有できること。
25年以上	係長以上	現在の状態を説明するための資料はA4 1枚に、現状・課題・事業の効果を箇条書きにすると共に図で示す。組織のキーパーソンに必要性・効果を理解してもらい、そのキーパーソンから組織内での合意をとってもらう。
25年以上	係長以上	現在の問題と実施計画、その目標をデータ化し、効果を訴える。他の地域との比較グラフを示し、問題意識の共有をする。
25年以上	係長以上	現実の課題が所属・組織で共有認識されていた。虐待が多い→予防することが大切→命の大切さを体験させる
25年以上	係長以上	現実の事例をもとに、感情ではなく理論で説明する
25年以上	係長以上	現状と問題点を明確にして、わかりやすく伝えること。具体的な対策を示すこと（方法等も具体的に示す）
25年以上	係長以上	現状と予想される効果について説明すること
25年以上	係長以上	現状のデータや健康課題を分かりやすく示し、何度も説明すること。
25年以上	係長以上	現状のデータや住民（課題）の声を伝える。メリットを伝える。（長期展望で医療費の削減人材育成となること等）
25年以上	係長以上	現状の提示（データ化）
25年以上	係長以上	現状の分析と課題の抽出、それに対する具体策の提案
25年以上	係長以上	現状や課題を事例紹介やアンケートを行い、分析し、あるべき姿を考え、粘り強く上司や関係機関に説明を行いました。保健師は保健・医療・介護等の職種の中で、最も行政・地方自治に身を置く仕事です。そのポジションを意識して理解して、働きかける、仕掛けることが大切だと思います。
25年以上	係長以上	現状をデータを交えて説明する。
25年以上	係長以上	現状を数値やグラフ、住民の声で伝え、理解してもらえるようにする。
25年以上	係長以上	現状を数値をもって示し、どのような意図で行うかを端的な言葉で理解できること。上司であれば国の方向性、住民であれば部署としての方向性に沿っていること。これまでの活動の限界について数値対象者の生の声を捨てること。
25年以上	係長以上	現状を数値化、又グラフ化しプレゼンする。メリット・デメリットを明確にする。
25年以上	係長以上	現状を伝えどこに焦点をあててアプローチするか伝えること
25年以上	係長以上	現状を目に見える形で示すこと。そして問題点を明確にして示す。どうしたら改善できるかまでこちらの考え方を示す。
25年以上	係長以上	現状－課題－その解決のための検討案－これらの必要性検証－解決手段などを論理的かつ簡潔にまとめできるだけ平易なことばを使う。
25年以上	係長以上	現状分析・課題・期待される効果をわかりやすく資料を用いて説明する事
25年以上	係長以上	現状分析と計画、期待できる効果の説明
25年以上	係長以上	現状分析の結果。国からの根拠法令
25年以上	係長以上	個別支援において関係機関間の連携調整を図ったこと（病院や訪問につなげたり、ケアマネと連携したり）
25年以上	係長以上	効果と必要性を説明する
25年以上	係長以上	効果の予測を数値的に表しながら説明する。他の自治体の状況を示し、同じようなとりくみをして効果が実際にあったことを示す。
25年以上	係長以上	効果測定を明確に数値化
25年以上	係長以上	口頭だけの説明ではなく、実際にどう変化するのか、目で見てもらうこと
25年以上	係長以上	口頭だけよりも五感で感じるもの、見る、触る、味わう、聴く等の体験をとり入れたもの。相手に考えてもらえるような
25年以上	係長以上	広い視野をもって、それぞれの立場・役割を理解したうえで説明すること。
25年以上	係長以上	行うことによる効果。行うことによる周囲の評価内容を伝えたこと。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	国・県との統計の比較を示す。メリット・デメリットを明確に文章化する。根拠法令を示す。効果があった具体的な事例を市民の生の声とともに示す。市の上位の計画（総合計画等）の中に明文化する。相手の立場に立って作成した資料を示す。相手が協力・理解してくれたことにより、発生した効果を明文化して伝える。
25年以上	係長以上	国の動向や関係する法的根拠を示す。健診や医療費分析のデータなどから地域の健康実態を示す。
25年以上	係長以上	国の動向や他市町の状況、活動によって得られる効果等を説明する資料をよりわかりやすくまた短時間で把握できるよう工夫して作成すること
25年以上	係長以上	今起こっている問題と放置した場合のリスクの説明を、何に取り組むことで効果が見えそうかの提案。
25年以上	係長以上	困難事例の対応時、関係機関と調整会議をし、その成果を報告した時である。事例を通して問題、対応、評価等を書面に整理してタイムリーに報告した。
25年以上	係長以上	根気よく説明する、相手の話（意見）をしっかり聞く
25年以上	係長以上	根拠・成果予測をしっかりたたて説明する
25年以上	係長以上	根拠となるデータや意見の収集と分析
25年以上	係長以上	根拠となるデータを示すこと。繰り返し必要性について説明すること（日頃の会話の中から少しずつ）
25年以上	係長以上	根拠となるデータ収集、明確なゴール設定、住民とともにという熱意を示す
25年以上	係長以上	根拠となる数字を出すこと
25年以上	係長以上	根拠となる法や国からの通知を示す。
25年以上	係長以上	根拠と方向性を明確にする。事業のストーリーをつくる。
25年以上	係長以上	根拠にのっとなって、地域のデータ（住民の声など）を資料化し、めざすべき方向性を計画書にして提出した
25年以上	係長以上	根拠のある資料にもとづいた説明が効果あり、地域実態等
25年以上	係長以上	根拠の法令の明確化。・予算
25年以上	係長以上	根拠を示すデータを作成すること。目的・目標を明確にし、具体性のある内容を提示すること
25年以上	係長以上	根拠を明確にすることが決め手
25年以上	係長以上	根拠資料、担当者の想い
25年以上	係長以上	根本、根っこの目的や、目標をお互いで確認し、すすめたこと。やり方や方法は人各々違ってあたりまえ、大切な根本を共有すること。
25年以上	係長以上	最近新規事業として着手していないので回答できない
25年以上	係長以上	財源があること、市民のニーズが高いこと、法的根拠があること等理解しやすい資料を提示する。
25年以上	係長以上	財政難の折、補助金等歳入も確保しつつ、他課や住民組織と連携協力し、実績が残せたこと。経費削減の工夫も必要
25年以上	係長以上	支援対象個々の状況や抱える課題、提供されたサービス内容等を集団の情報として集約、整理、分析し、そこで確認できた課題を解決するために必要な業務・活動内容を示したこと
25年以上	係長以上	視覚的資料（図・表・グラフ）、アンケート結果をもとに必要性の根拠を出す。意見をいただく機会を設ける
25年以上	係長以上	資料をそろえ、これを導入するところなるという話をする
25年以上	係長以上	資料をつくり時間をかけて上司に説明することと、法的根拠をうしろだてにすること。
25年以上	係長以上	資料を実際目で見てもらい、視覚に訴える
25年以上	係長以上	資料作成にあたり、論文と同様の要素で構成した。図表で見やすくした。実施した場合、しなかった場合のメリット、デメリットを示した。
25年以上	係長以上	事業についてまとめて報告するのではなく、常に報告したり自分の悩みについて相談していくことで上司や関係機関を活動の中に引きこみ理解を得ている
25年以上	係長以上	事業の計画・実施・評価について、職場内で共通理解を図った上で、地域や関係団体に提示し（定期的、又は随時）、協同で進めた。
25年以上	係長以上	事業の必要性・問題点などがわかる資料を作成し、説明した。
25年以上	係長以上	事業開始前に関係機関に集ってもらい、事業の周知、方法について検討会を開いたこと
25年以上	係長以上	事業計画書を作成し、経緯を説明する。
25年以上	係長以上	事務職の上司には科学的なデータを提示して必要性を説明すること①データの収集力②データの加工力～見える化③必要性のプレゼン力
25年以上	係長以上	事例を具体的にあげたり、数値をグラフで見やすくして説明した
25年以上	係長以上	時間をかけて何度も説明する。決め手はタイミング。
25年以上	係長以上	時流にのること・他分野からの後押しがあること（他分野から必要性を訴えてもらうこと）・日頃の地道な活動をまとめておくこと

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	自分の意見と他の関係者の意見も聞き、資料とする。統計Dataをグラフ化して、必要性を説明する。
25年以上	係長以上	疾病統計的なことをより分析し、情報を提供し説明するなかで、いろんな生の声、思いを傾聴しつつ、解決策を共にみだし、お互いの思いをひとつにすること
25年以上	係長以上	質と量の根拠のある実態把握が行なわれており、図表で国・県等との比較が示されている。必要性が端的なことばで示されている。
25年以上	係長以上	実際にいっしょに行動をした場合は理解がはやい。その人から他の人へ保健師の存在を、活動の意義をアピールしてもらえらる。
25年以上	係長以上	実際にミニ講座を行い、体験してもらった。（講座をやりたいが、人員不足のため補正予算を要求した）
25年以上	係長以上	実際に良いことを実感できたり体験できることで、住民が必要性を認めてくれると、他への影響も大きかった
25年以上	係長以上	実際に住民のところへ出向き、さまざまなサービスをしていくこと
25年以上	係長以上	実際のデータ、科学的根拠
25年以上	係長以上	実施する活動（事業）の背景にある原因と、それを軽減するために活動が必要であることを説明
25年以上	係長以上	実施の根拠法令を示し、予算を確保するための手段を考え、その効果について説明する。
25年以上	係長以上	実施結果をグラフや図にして示し、分析した内容と今後の課題をつけて報告した。
25年以上	係長以上	実績をまとめて報告する
25年以上	係長以上	実態・実績・国・道の動きや他都の動きとの連動があること等を視覚的に訴えること、なおかつ低予算であること、内容はわかりやすいこと
25年以上	係長以上	実態と活動の必要性、先進地の取り組み、その効果を説明・保健所や関係機関の後押し、協力してもらう。
25年以上	係長以上	実態や課題の提示、各々の役割分担
25年以上	係長以上	実態を示す、説明資料を充分考える
25年以上	係長以上	実態を提示、プランも文書化し、説明も行う。
25年以上	係長以上	実態を把握して具体的に表現していくこと。どのような効果が期待できるか。
25年以上	係長以上	実態を明らかにする・目標（到達点）を明らかにする・効果予測を明らかにする・効果検証ができる・住民の変化（健康度）を伝える事ができる
25年以上	係長以上	社会的な問題となっている項目についての現状、他都市で状況でわかりやすく示し、行政施策の計画に掲載で、方向性を出したこと。
25年以上	係長以上	住民アンケートの結果
25年以上	係長以上	住民からの意見
25年以上	係長以上	住民からの声を実現の必要性含めて、関係機関と段階をふみながら打合わせしていくことで同じ方向に向かっていくことができる
25年以上	係長以上	住民から要望があったことを伝えて、重要性を強調する。
25年以上	係長以上	住民と一緒に話し合いながらすすめていく。組織的に専門家の意見を書く審議会を設置し検討していく。
25年以上	係長以上	住民ニーズの把握・乳幼児健診データ・町内の関係機関による口添えと協力体制
25年以上	係長以上	住民にとっての必要性を住民組織に伝える事（地域）→その事で健康指標がどれ位変化する効果があるか（→上司・関係機関）
25年以上	係長以上	住民にとって必要な内容なのか検討をすることで、必要性があると分かったこと
25年以上	係長以上	住民には何をするのかを具体的に示すこと
25年以上	係長以上	住民に数値を見せ、説明した
25年以上	係長以上	住民のニーズ、実態を客観的にわかりやすく示すこと。1つ1つの問題があがった時にいていねいに対応すること。
25年以上	係長以上	住民の意見を吸いあげ、業務に反映させること。あくまでも主体は住民なので。
25年以上	係長以上	住民の状態（声）、アンケート結果
25年以上	係長以上	住民の生の声を傾聴し、住民が望んでいるニーズを選択し、実現可能で優先度の高い事業等について具体的に説明する。
25年以上	係長以上	住民の生の声を自分のものとして必要性を訴えていく
25年以上	係長以上	住民の声（ニーズ）を集約したこと・関連法規と予算の確保→精神障害者の患者会をサロン化へ
25年以上	係長以上	住民の声、当事者の声を重視しながらも、プラス、客観的データを示す
25年以上	係長以上	住民の声を集め、客観的データを示し、目指す目標や目的を伝えることだと思う。
25年以上	係長以上	住民の方の卒直な意見や声
25年以上	係長以上	住民や組織の声・要望、経過や結果のまとめをもって説明した

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	住民組織へは家庭訪問や健康教育・地域組織活動支援など基本的保健師活動を通じて、信頼を得ることによって（信頼関係ができることによって）保健師の言うことを納得してもらえらると思っている。現場にいる者として、現状それを伝えることで住民は動くと思っ ている。
25年以上	係長以上	十分な活動分析、それに伴う資料と証明
25年以上	係長以上	十分な説明と信頼関係の構築
25年以上	係長以上	初めから一緒に検討し、目指す所を共通理解、共有すること
25年以上	係長以上	上司、関係機関については上からの通知があること。
25年以上	係長以上	上司・関係者等に現場に同伴してもらい、保健師の活動を直に見てもらう。また、保健師の活動によって対象者の反応を感じてもらう。
25年以上	係長以上	上司と相談し、一緒に考えていく
25年以上	係長以上	上司に現状を図表等、数値や比較したものを表わし説明。メリット、デメリットを比較し説明した。
25年以上	係長以上	上司は理解を示さない。上司の考えにそって仕事をしています。
25年以上	係長以上	上司や関係機関からは住民からプッシュしてもらう。住民組織とは良好な関係をもち、気運がよかった時に支援する。
25年以上	係長以上	上司や関係機関には、とにかくデータ。過去と現在のデータを分析し、将来的な予測を立て、まとめ提示した。同職種でない人なので数値を重視する傾向にあったため。
25年以上	係長以上	上司や関係者には住民のニーズを基に説得する
25年以上	係長以上	状況を数値的に表現する。身近な問題であることを示す。
25年以上	係長以上	職場内に事業実施に積極的な協力体制があり、チームで関わられたこと。保健所が動きはじめたことで、地域内でサポートしてくれる人材把握につながり協力体制が組めたこと。
25年以上	係長以上	信頼関係とデータ分析に資料で説明すること
25年以上	係長以上	新規事業を行うにあたって、上司の保健師の理解を得て、その上の上司（事務職）への理解を得てもらえたこと。
25年以上	係長以上	新規事業を立ち上げる際、事前に関係者からアンケートをとり、現状の問題と課題を明確に示した。予算がなかった為、予算がなくても可能な方法をあげて説明した。対象（この場合は教育現場）の現場担当者との連携を事前から積み重ねる努力をしていた。対象にもニーズと必要性があることを具体的に示した。
25年以上	係長以上	真摯な態度、分かりやすく具体的な説明
25年以上	係長以上	人間関係づくりと、納得してもらう資料づくり
25年以上	係長以上	人間関係の構築
25年以上	係長以上	腎機能の低下している方のための教室は、透析の費用と比較しやすく説明しやすかった
25年以上	係長以上	迅速に説明会を開催し、直接、質問や不安に答えていくこと

表5 活動の成果を上司や関係機関、住民組織に評価してもらえる決め手(今までの保健師経験より)

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年未満	スタッフ	住民からの意見、住民の声がなによりの決め手です。
5年未満	スタッフ	事例を通しての報告
5年未満	スタッフ	速やかな対応、報告をすること
5年未満	スタッフ	資料の作成、相談、くり返し説明等
5年未満	スタッフ	データの提示、一緒に成果を確認する
5年未満	スタッフ	一緒に問題解決に向け取り組むこと
5年未満	スタッフ	成果を見やすく書面に整えたこと。住民の声を反映した。
5年未満	スタッフ	活動の成果を住民の方に語ってもらう。又その活動が他地域で取り組まれたこと。行政主導でなく地域のリーダーや住民の方と相談しながら準備・企画から関わってもらったこと。住民の方自身が達成感を感じていること等
5年未満	スタッフ	数値での比較、図表化
5年未満	スタッフ	数値での評価をおこなう
5年未満	スタッフ	活動の数字・経過を出すこと
5年未満	スタッフ	数値で示す
5年未満	スタッフ	地域住民からの生の声
5年未満	スタッフ	データ化してSPSSで分析し、成果を示した。又、学会・研究会で発表した。
5年未満	スタッフ	適切な情報提供と、報告・連絡をとったこと
5年未満	スタッフ	3と同様で、さらに成果の説明と活動した仲間との共有、同じ位置で意見を出し合うこと。
5年未満	スタッフ	活動のまとめとして、積み重ねた事柄を示す
5年未満	スタッフ	活動前後の受診率や市民の意見、アンケートをまとめて提示
5年未満	スタッフ	住民の受け取り・変化
5年未満	スタッフ	事業の結果を示すこと
5年未満	スタッフ	実施後の評価アンケート
5年未満	スタッフ	細かな報告やPHNとしての視点、他職種ならではの連携が評価（結果）につながったと思います。
5年未満	スタッフ	活動の取り組みを研究発表として、わかりやすくまとめた。
5年未満	スタッフ	活動をまとめる。
5年未満	スタッフ	データとしてや記録として、客観的なものとして示すことができたとき
5年未満	スタッフ	成果がなかなか上がらない
5年未満	スタッフ	活動の目的・必要性をしっかりと持ち、わかりやすい媒体を活用しながら伝えていくこと。
5年未満	スタッフ	分かりやすい資料と説明（写真、動画などを含めると伝わりやすい）
5年未満	スタッフ	相手が何を求めているか明確にすること。仲間、他職種との連携を密にすること。
5年未満	スタッフ	わかりやすい説明と具体例の提示、効果を示す
5年未満	スタッフ	活動の必要性、これまでの経過をわかりやすく伝える資料を作成する。
5年未満	スタッフ	活動内容の資料化（数量化・費用対効果・実施効果の明確化）とプレゼンテーション
5年未満	スタッフ	対象の価値感を大切にすることだと思います。自分の価値感を押し付けない事が相互理解につながると思います。
5年未満	スタッフ	活動の必要性の説明に基づき成果を示す。
5年未満	スタッフ	変化したデータ、住民の声、関係者の声、アンケート結果、成果物があった（ビデオ、手引書など）、新たな物やサービス・制度が誕生した
5年未満	スタッフ	上司については企画立案し、関係機関へ説明し、理解してもらい事業が次々と展開していくことによって。関係機関とは、会議で意見を出してもらい、それを実行し、成功する事によって評価していただいた
5年未満	スタッフ	前後での客観的・主観的な評価を行ったものを資料としてまとめる。
5年未満	スタッフ	直接の担当ではないが、母子保健推進員の活動において、母子保健推進員会長表彰への推薦と受賞で、市長および上司に活動の成果を認められたことを報告、活動の重要性や成果を認識してもらえることにつながった。
5年未満	スタッフ	誰でもわかりやすい数値に表すこと
5年未満	スタッフ	数字で示す。良い変化を具体的に伝える。
5年未満	スタッフ	費用対効果や改善点について専門用語でなく、一般的に理解されやすい言葉で説明した。
5年未満	スタッフ	一緒に現場に行く、法に基づき説明する
5年未満	スタッフ	運動教室の場合は元気になった、活力が出てきた、転倒することが少なくなったなどの意見や筋力のデータなどで結果を見る。・住民の声
5年未満	スタッフ	思ったとおりの成果がでたこと。成果があがるように努力、工夫をしたこと。
5年未満	スタッフ	関係機関と密に連携をとること。前例にとられない豊かな発想。
5年未満	スタッフ	成果を数値化する。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年未満	スタッフ	成果を数値としてまとめること
5年未満	スタッフ	目的や目標の達成度が、客観的に説明できること
5年未満	スタッフ	関係機関の調整、実績の数値化、資料作成・報告の工夫、日頃のコミュニケーション、信頼関係
5年未満	スタッフ	分かりやすい順番で、分かりやすい言葉・表現で伝える
5年未満	スタッフ	成果を具体的にわかりやすく伝える。アンケート結果をまとめる
5年未満	スタッフ	地区で実施する事業に住民組織の人々にも運営に携わってもらったり、参加や見学等で参加してもらうことにより、評価してもらい、その住民組織の代表を通じて、地区会議や広報でPRしてもらおうと、地区全体の理解を得ることができる。
5年未満	スタッフ	健康教室の内容が、住民の健康課題やニーズと一致している。保健師が熱意を持って住民に話をする。
5年未満	スタッフ	成果を数値であらわす
5年未満	スタッフ	結果が目で見えること（入院させる、作業所に結びつける）密な連携
5年未満	スタッフ	対象の問題が解決できたという客観的事実を示した。
5年未満	スタッフ	客観的指標を用いる
5年未満	スタッフ	過程、結果をみせること。責任をもって取り組むこと。
5年未満	スタッフ	数値とその要因を説明すること。
5年未満	スタッフ	現状データの表示。介入しなかった場合に予想されること。費用対効果。
5年以上15年未満	スタッフ	変化した内容など数字で示す。感想などナマの声をそのまま伝える。
5年以上15年未満	スタッフ	コストパフォーマンス評価・満足度の評価・参加者の人数
5年以上15年未満	スタッフ	行政である以上、経年比較で指摘されるが（インフルの経験により）、感染症の場合、昨年のインフルの様な突発的発生があった時に備えて、余裕を持つことが理解された。
5年以上15年未満	スタッフ	所内や地域で実践報告の場面を持ったことと、学会等で発表の機会をもったこと。
5年以上15年未満	スタッフ	予測していた効果だけでなく、波及効果についても示す
5年以上15年未満	スタッフ	数値、グラフで表す
5年以上15年未満	スタッフ	名前を呼ばれ、相談を受けるようになった
5年以上15年未満	スタッフ	活動の実践、地域の子育て支援となる効果をまとめ、報告する。・住民組織とともに考え、実践していくプロセスを体験し、報告する。
5年以上15年未満	スタッフ	課題を明記し、それに対する具体的な活動内容を示し、結果を評価
5年以上15年未満	スタッフ	補導員の地区大会で、当町が大きな役割を担うことになった。関係機関はもちろん上司に随時過程を報告し、理解してもらうこと。広報誌に掲載してもらい、住民に広く活動を知ってもらったこと。
5年以上15年未満	スタッフ	評価後、ステップアップした計画につながる。
5年以上15年未満	スタッフ	事例の紹介
5年以上15年未満	スタッフ	活動報告を数値としてわかりやすく示すこと
5年以上15年未満	スタッフ	住民の声を聴き、今何が必要かを一緒に考え、実施すること
5年以上15年未満	スタッフ	前後の比較や参加者の反応をわかりやすく伝えること
5年以上15年未満	スタッフ	支援と結果を伝えること
5年以上15年未満	スタッフ	結果を説明しまとめること
5年以上15年未満	スタッフ	評価の内容の正確さやわかりやすさ
5年以上15年未満	スタッフ	そのような経験はあまりありません。
5年以上15年未満	スタッフ	参加者（利用者）の直接の声を毎年まとめて（アンケートにより）報告。教室等利用者の推移、事業内容等の報告。
5年以上15年未満	スタッフ	活動前の現状、課題を明確にすること。活動内容の具体とその後の地域の状況変化を明確に示すこと。
5年以上15年未満	スタッフ	保健師として感じたことをデータにおとして分析し、目に見える形とした
5年以上15年未満	スタッフ	毎年事業評価を説明していた（医師用、組織用、職員用）。実績を細かく説明することで納得し、協力する気持ちが得られた。
5年以上15年未満	スタッフ	ニーズに対する目標が達成できなくても位置を確認できた事
5年以上15年未満	スタッフ	活動の結果に基づき考察して評価として残した事。それを必ず住民等にフィードバックした事。
5年以上15年未満	スタッフ	学会等に発表する。数値を示す。研修会に積極的に出席し、当市の活動がどの位置にあるか把握して上司に報告する。
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすいデータを提示
5年以上15年未満	スタッフ	数値で評価すること。参加の状況を伝えたり、感想を伝え数値には表われないことも成果として伝える。
5年以上15年未満	スタッフ	活動前後の状況をわかりやすく伝える。
5年以上15年未満	スタッフ	～だろうという感覚を、アンケート調査を実施し、評価することにより目に見える数字としてあらわした事。
5年以上15年未満	スタッフ	客観的に誰がみてもわかるようなまとめをしたこと？

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	スタッフ	①気づきから実感、納得すること②目指すべき目的を共有し連携③結果や成果をみせていく。わかりやすく
5年以上15年未満	スタッフ	具体的な目標値を設定し、それが達成されることを示す
5年以上15年未満	スタッフ	住民の生の声を上司にも報告することと、数値にして結果を残すこと。
5年以上15年未満	スタッフ	活動時のアンケート調査や結果を示すこと、とくに生の声の記述はあると良い。
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすく、具体的に説明したこと。やる気を示す、行動化する。
5年以上15年未満	スタッフ	実施結果をグラフや図にして示し、分析した内容と今後の課題をつけて報告した。
5年以上15年未満	スタッフ	アンケートや直接対話（インタビュー）などからの生の声をきく。
5年以上15年未満	スタッフ	数値としての評価として示す。
5年以上15年未満	スタッフ	わかりやすいデータ資料の作成と説明。
5年以上15年未満	スタッフ	見やすい資料とする。見やすい団体に周知する
5年以上15年未満	スタッフ	てきめんの成果が表われにくい、数値化したもののグラフにしたものを使っての報告、他市町村との比較の表などで現わされたものを報告
5年以上15年未満	スタッフ	関係者や住民の共通する願いをさがし、活動の目標とする。その手段として事業を活用する姿勢を示す。共同作業をつくる→これらのプロセスを踏むことで評価はわからないが、皆の満足感は得られる。
5年以上15年未満	スタッフ	活動によって変化したこと、継続できたことを数値データや住民の声を提示したこと。
5年以上15年未満	スタッフ	活動前後の変化、特に効果のあった点
5年以上15年未満	スタッフ	事業前後のデータの改善状況を数値で示す。住民の声（アンケート結果など）をまとめる。
5年以上15年未満	スタッフ	活動のまとめを広報等に掲載する
5年以上15年未満	スタッフ	評価指標に基づく評価を行う（数値の変化、住民の声）
5年以上15年未満	スタッフ	こまめな報告と関係者（上司、機関、住民）への配慮
5年以上15年未満	スタッフ	前後の客観的データの集計と質的データを合わせてまとめること。第三者の評価などがあると、さらに決め手となる。
5年以上15年未満	スタッフ	経験年数が少なく評価されたことがありません。
5年以上15年未満	スタッフ	活動の発表の場（学会等ではない）、イベント等
5年以上15年未満	スタッフ	保健・医療知識があり、そして地域をコーディネートすることのできる専門家であること。そして地域の人達の健康と命を守る公衆衛生者看護を担う専門家と信頼されること。
5年以上15年未満	スタッフ	健診データから読みとれる体の変化を科学的に伝える。本人が気づくことが生活改善のポイントになると考える。
5年以上15年未満	スタッフ	上記内容及び対象者の声を聞く事が大切
5年以上15年未満	スタッフ	上記同様、成果となるデータをきちんと資料としてみてもらうことが決め手だと思う。
5年以上15年未満	スタッフ	数値で示す。アンケートで声をきく。
5年以上15年未満	スタッフ	効果が数値で表れる・費用対効果が検証できる
5年以上15年未満	スタッフ	対象の意向に沿うことを意識して支援を行った時。対象の持っている力を信じて支援した時。
5年以上15年未満	スタッフ	最後まで手をぬかないこと。良い結果、成果を得ること。
5年以上15年未満	スタッフ	量的データ、質的データ、ナラティブな表現をくみあわせて、あるべき姿と現状のギャップと、それを縮める手段を示す。上記のギャップがどれだけ縮まったかを示す。
5年以上15年未満	スタッフ	活動のまとめを経過的にまとめることと対象者の感想をまとめ報告する。
5年以上15年未満	スタッフ	結果は伴わなくても、ケースへのきめ細かな関わりを持つこと。
5年以上15年未満	スタッフ	①個々の住民が良かったと思ひ発言し、地域組織でその活動の意義が知られること。②個々の住民や地域組織が公に活動の状況成果を自分達で公表する場をつくること（その前に効果を評価し、ほめる、感謝する）③専門誌や同じ活動をしている団体に公表する機会がもてること。
5年以上15年未満	スタッフ	アンケート結果等を分かりやすくまとめ伝える。
5年以上15年未満	スタッフ	実績をグラフや表にして提示すること
5年以上15年未満	スタッフ	形として残す、例として自主グループ化
5年以上15年未満	スタッフ	保育園の視力検査の結果を紙ベースで提出してもらっていたが、データで（PCで）提出してもらうことでスムーズになった。（紙をなくした、届ける時間がないなどの苦情が減った）
5年以上15年未満	スタッフ	データを示す。・具体的な事例をあげて説明する。
5年以上15年未満	スタッフ	客観的に示すこと、住民側から上司に成果を伝えてもらう
5年以上15年未満	スタッフ	短期的・長期的目標を明らかにしておき、また共有することで、おのずと成果を確認でき、評価していただけている。
5年以上15年未満	スタッフ	事前と事後の数的データをグラフ化する
5年以上15年未満	スタッフ	各関係機関や住民との連携をタイムリーに密に行う。
5年以上15年未満	スタッフ	日頃の活動からの関係が、信頼となって活動できることが多いと思います

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	スタッフ	客観的データを示す。主観的な感想をこちらから聞いていく。
5年以上15年未満	スタッフ	対象者の満足度や行動変容の様子を示す
5年以上15年未満	スタッフ	目にみえる結果ができる。ex) グループがたちあがる、HIV回数
5年以上15年未満	スタッフ	事前に目的に対する効果を図る指標を決めておき、事業後に効果判定をアンケートや聞きとりにより行う。その効果をまとめて事業に関わった人々に知らせる。(できるだけ直接会って話をして知らせる)
5年以上15年未満	スタッフ	保健福祉事業打ち合わせ会議で地域役員、公民館との話し合い
5年以上15年未満	スタッフ	実績を統計的に数字で見せる。活動していく過程を随時報告する。
5年以上15年未満	スタッフ	アンケート等の結果により、市民の満足度を伝える。
5年以上15年未満	スタッフ	市民アンケートでその活動周知度が高かったこと、事業については、利用希望の待機者が常時あり、要望の高い事業であることを示した。
5年以上15年未満	スタッフ	新規事業の実績・評価をまとめ、示すことで、事業についての評価を得ることができた。
5年以上15年未満	スタッフ	活動の成果をきちんとまとめ、対象に応じた方法で報告していくことで、理解が得られ評価していただける。
5年以上15年未満	スタッフ	目に見えるわかりやすい資料の作成と、実際の参加者の声の提示。
5年以上15年未満	スタッフ	地域や団体等に伝えたいこと・啓発していきたいことを積極的に出向き(出前講座や健康教育)顔売を売る。(存在感を示す)データがあればデータを示すとわかりやすい。
5年以上15年未満	スタッフ	成果物として、まとめたり冊子を作成すること。
5年以上15年未満	スタッフ	個別支援において関係機関間の連携調整を図ったこと。(病院や訪問につなげたり、ケアマネと連携したり)
5年以上15年未満	スタッフ	客観的なデータを示す、参加者等の生の声を伝える、アンケートによる感想等
5年以上15年未満	スタッフ	事業の対象者の利用率を示し、前年より利用率が上がっている結果が得られたこと
5年以上15年未満	スタッフ	実施前と後の数値を目に見える形で示すこと。
5年以上15年未満	スタッフ	活動が期待する結果となった。または、結果が出なくても状況の変化がみられた。
5年以上15年未満	スタッフ	活動の経過、地域住民の活動に参加しての感想等をまとめた資料を作成し、関係者に示す。
5年以上15年未満	スタッフ	事業等の評価を具体的にわかりやすく紙ベースで示すこと。
5年以上15年未満	スタッフ	健康課題・対応・実績評価等一連の流れを説明
5年以上15年未満	主任・主査	数値で示す(参加人数や回数、金額など)アンケートで意見を集約する
5年以上15年未満	主任・主査	連絡をまめにとること(進捗状況、相方の思い等)上司へ関係機関、住民組織から直に評価をコメントしてもらう。
5年以上15年未満	主任・主査	目標に達成したかどうかを評価することが大切だと思います。
5年以上15年未満	主任・主査	課題の共有と、役割の明確化
5年以上15年未満	主任・主査	アンケート等で参加者の声を示す。数値で示す。
5年以上15年未満	主任・主査	成果を実感できる場を設けること
5年以上15年未満	主任・主査	上司の評価と住民からのアンケート結果等。
5年以上15年未満	主任・主査	とにかく住民のためを思って一生懸命に取り組もうとする姿勢。
5年以上15年未満	主任・主査	成果をアピールできる資料づくり
5年以上15年未満	主任・主査	介入した結果の提示、介入による対象者の反応の変化
5年以上15年未満	主任・主査	数値化・可視化することと、住民の声など具体的に話す。
5年以上15年未満	主任・主査	実施前後の数的データの提示と、具体的に変化
5年以上15年未満	主任・主査	実践結果をまとめ、状況報告し、今後の課題について提案すること
5年以上15年未満	主任・主査	数値変化と関わった活動の感想・実感を伝えること
5年以上15年未満	主任・主査	地道な努力の積み重ね
5年以上15年未満	主任・主査	説明(活動の根拠、活動後の計画)と報告(途中経過、結果)
5年以上15年未満	主任・主査	アンケートをとったり、数値を比較したり、自分で確認した事を文章化したり目で見える形にして説明する。
5年以上15年未満	主任・主査	事業の前後で、対象者がどう変化したか、地域にどのような影響があったかを明確にする
5年以上15年未満	主任・主査	住民当事者、関係者に納得してもらう
5年以上15年未満	主任・主査	検査データ、根拠と共に自らが実施し感じた問題点を1つずつ整理し、解明していったから。
5年以上15年未満	主任・主査	実務した内容と結果を評価し、対象に返す事。参加型にして、対象にも一員になってもらうこと。
5年以上15年未満	主任・主査	相手にとっての困り事、課題を整理し、解決方法としての提案によって、解消できたと思ってもらえること。
5年以上15年未満	主任・主査	必要性と実施状況、結果についてまとめ、報告したこと。
5年以上15年未満	主任・主査	保健師間の共通理解、市民の声の市政反映

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	主任・主査	アンケートをとり、住民の声をきき、グラフにまとめたり、意見・感想等を評価資料としてまとめ、発表した。
5年以上15年未満	主任・主査	数値化して目標を設定して評価しやすいようにすること。
5年以上15年未満	主任・主査	数値化したデータの提示
5年以上15年未満	主任・主査	どのような効果があったのかを数値化したり、わかりやすくすること。
5年以上15年未満	主任・主査	成果が数値に表れていること
5年以上15年未満	主任・主査	アンケート等で得られたデータをまとめ、報告する
5年以上15年未満	主任・主査	目的と評価指標を明確にしておく。目的の中に地域で発見されている健康問題をいれておく（法律だけを事業根拠としない）
5年以上15年未満	主任・主査	「がんばっている」「取りくんでいる」だけでは評価されません。プロセスも大切ですが、何らかの結果や実績を残すこと。そこで生まれた成果物は多くの人にとってわかりやすく活用しやすいものでなければならないと思います。
5年以上15年未満	主任・主査	誰にでもわかりやすく、目に見える成果を提示すること
5年以上15年未満	主任・主査	血圧測定を行いながら個人情報収集し、地区の情報を得ていくこと
5年以上15年未満	主任・主査	成果を分かりやすく示す、住民が実感できる方法で還元する
5年以上15年未満	主任・主査	統計（経年的実績）
5年以上15年未満	主任・主査	データをわかりやすいグラフや表にして伝える。
5年以上15年未満	主任・主査	目標達成に向けた準備、活動後のフォロー
5年以上15年未満	主任・主査	報告を細めに行なうことで、過程を理解してもらえた点、学会に積極的に発表した点
5年以上15年未満	主任・主査	数値データの変動の提示・事例の紹介（活動の中での具体的な事例をとおして数値データに具体的な成果を示す）
5年以上15年未満	主任・主査	必要な時に行くのではなく、ふだんから顔を合わせ関係を作っておくことが大事
5年以上15年未満	主任・主査	事後の反省を関係機関で話し合い、達成度を抽出し、さらによりよい活動にする為の具体的方法を話し合う
5年以上15年未満	主任・主査	活動前と後のデータを比較すること。活動参加者のニーズを事前に把握し、それに沿った活動を行うこと。
5年以上15年未満	主任・主査	活動の準備の段階から理解を得るためのアプローチを続け、活動のプロセスを段階をおって示すこと
5年以上15年未満	主任・主査	変化について、わかりやすくデータや数値で示す。質的な変化については、アンケートなどを使って客観的に評価する
5年以上15年未満	主任・主査	十分な根拠に基づいた説明。日常的に話し合い、連携し合える関係をつくること。
5年以上15年未満	主任・主査	報告を欠かさず保護者や関係機関とよく相談しながら進めていく
5年以上15年未満	主任・主査	データを示す、課題をあげる、解決策を先進地の事例をあげて提案する
5年以上15年未満	主任・主査	統計をとって、効果をわかりやすく明記提示する
5年以上15年未満	主任・主査	活動の状況（人数・参加後の変化など）を資料を作成して説明する。
5年以上15年未満	主任・主査	効果を数的な変化として表わすことと、実施した後の充実感がupしたこと
5年以上15年未満	主任・主査	成果をデータ化する。関係者の意見、声を聞き文章にする。住民へのアンケートを実施し、成果の評価に加える。
5年以上15年未満	主任・主査	E B M通りに成果がみえた時、みせることができた時
5年以上15年未満	主任・主査	（在宅緩和ケアシステムづくりに取り組んだ際）その活動を、なぜ今、この地域で行う必要があるのか、だからこの活動でいつまでに何をを目指したいのか（目的・目標）を共通理解でき、実際それに取り組んだ成果や課題を一緒に考え、それぞれができることを出し合い、協働するための調整を行えたこと
5年以上15年未満	主任・主査	住民の変化を明記した報告書の作成と、実際の事業実施場面を上司にも見てもらう、あるいは上司にも参加してもらう。
5年以上15年未満	主任・主査	数字や目で見える効果を示すこと
5年以上15年未満	主任・主査	実際の効果について
5年以上15年未満	主任・主査	タイムリーな動きと相談で活動をしていくこと
5年以上15年未満	主任・主査	単に聴き取り調査をするのではなく、本人の思いや家族の話に耳を傾け、向き合う姿勢を常に持つこと。記録を十分に残すこと。関係機関の調整を十分にし、サービス機能を最大限に生かすこと。
5年以上15年未満	主任・主査	住民組織との連携を密に行う。そこから得た情報は優先順位を考えて早目に必要時関わることをしている
5年以上15年未満	主任・主査	未経験であるため未記入
5年以上15年未満	主任・主査	高齢者施設で感染症が発生した場合、保健所への連絡が早くなり、感染拡大を最小限に食い止めることができた。
5年以上15年未満	主任・主査	活動の実績、評価（アンケート調査等）をまとめ、報告することは大切だと思う。
5年以上15年未満	主任・主査	活動前の課題と活動後の改善効果をポイントを絞って5分程度プレゼン実施した。直接的な効果+波及効果も説明した。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
5年以上15年未満	主任・主査	自殺予防対策について、SOTOモデルを使って住民と自殺予防対策を行った経緯と結果を地域の講演会で発表した事で、参加した住民から圧倒的に支持された。メインの内容ではなかったのに、アンケート記載には支持するコメントが多かった
5年以上15年未満	主任・主査	数値で成果を提示すること。・学会や事例の報告会などで発展すること
5年以上15年未満	主任・主査	感情を表現する
5年以上15年未満	主任・主査	数値的な物を出すと説得力がある
5年以上15年未満	主任・主査	数値化する
5年以上15年未満	主任・主査	実施までの経過、実施状況を報告していくこと
5年以上15年未満	主任・主査	相手の判断や見解に委ねること
5年以上15年未満	係長以上	活動前と活動後の比較
5年以上15年未満	係長以上	地域の状況にあった事業等を共同で実施すること
5年以上15年未満	係長以上	評価指標を明確にして結果示す
5年以上15年未満	係長以上	わかりやすく説明する、言葉・図や表を使って示す
15年以上25年未満	スタッフ	保健師として日常的に考え、感じていること、思いを心から伝えること
15年以上25年未満	スタッフ	各団体が協力し企画・運営を共有ですすめ、実績（参加者数・アンケート企画者インタビュー）で評価できた時
15年以上25年未満	スタッフ	わかりやすい図表等を使用しての説明
15年以上25年未満	スタッフ	活動前後の状態を比較分析できる（視覚的に確認できやすい）明確な資料の作成。
15年以上25年未満	スタッフ	院内機関誌による活動のアピールと効果の検証
15年以上25年未満	スタッフ	目標に対してどのような成果あったかの対比による説明①変化をデータにしてみせること②事例を紹介すること③課題を明確にすること
15年以上25年未満	スタッフ	データ提示、分かりやすい媒体
15年以上25年未満	スタッフ	身近にできる方法をはなす。内容を分かりやすく解説する（図や表をつかうなど）
15年以上25年未満	スタッフ	地道に活動する？
15年以上25年未満	スタッフ	事業に極力参加してもらおう。グループワーク等で自分の思いや気づきを語ってもらおう。つまりは、ご自分で成果を感じてもらおう。
15年以上25年未満	スタッフ	数字と対象者の声をもとに市の現状を他市町村と県比較
15年以上25年未満	スタッフ	費用対効果を示すことが決め手
15年以上25年未満	スタッフ	対象者の声を伝える
15年以上25年未満	スタッフ	活動の成果について質量ともにわかりやすく分析した資料を作成し、それに基づいて報告すること
15年以上25年未満	スタッフ	目標の達成度、アンケート調査、活動前後の変化など、結果を数値化し、成果指標を示すことで評価してもらえたと思います。すぐに結果が出ない場合も多いですが、経年的・多面的・客観的にみることも必要だと考えます。
15年以上25年未満	スタッフ	量的にどのくらい期待する効果があがったのか、予測する以外に確認された効果をグラフ等も入れて資料にした
15年以上25年未満	スタッフ	健康教室を行った際、対象に合った媒体を用いて、分かりやすく行ったこと。
15年以上25年未満	スタッフ	チームワーク、カンファレンス、PDCAサイクル
15年以上25年未満	スタッフ	意見をもらった人にきちんとフィードバックし、数ヶ月後に様子をみながら関係者で見守り評価していく事が大事
15年以上25年未満	スタッフ	住民の声、変化をもとに評価を受けた
15年以上25年未満	スタッフ	感情ではなく、客観的なデータを示す。専門職でない人でもわかる資料と文章を示す。市民の立場に立った姿勢。対象者に熱意が伝わることで、外部からの評価が伝わり理解されやすかった。大学等での講師依頼などがくることで、活動内容が客観的に伝わった。
15年以上25年未満	スタッフ	住民の声やアンケート結果をふまえ、住民に実感できる経験や意しきもてること。取り組みと医療費との関連を調査として報告すること。
15年以上25年未満	スタッフ	主観的に感じられる効果のみでなく、数値として示す
15年以上25年未満	スタッフ	どのように活動してきたか、どのように支援してきたかの経過と、それによる結果。データの提示、数値化、両方が整った時、評価される。
15年以上25年未満	スタッフ	わかりやすい数値化する
15年以上25年未満	スタッフ	研修会参加者にアンケートをとり、その集計結果で研修会の評価について示したこと。
15年以上25年未満	スタッフ	住民を巻き込んでこの活動が必要であったことを訴えてもらう。住民の声を資料として提供する。グラフ化など視覚で訴える。
15年以上25年未満	主任・主査	具体例を挙げること
15年以上25年未満	主任・主査	数で表せるものではない場合は変化があった事を報告した
15年以上25年未満	主任・主査	関係する数値を出し、数量で表わした
15年以上25年未満	主任・主査	対象者の声をつかむみ、伝えること
15年以上25年未満	主任・主査	参加者、アンケートのまとめ、当日の写真等で報告書を作成し報告する。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	主任・主査	数的評価が難しいことが多いためプロセスを伝えたり、目指す目的にどう近づいているかを示す
15年以上25年未満	主任・主査	分かりやすい数値等（感覚的なものではない）で結果を表わすこと
15年以上25年未満	主任・主査	介護予防評価検討委員会などの場の設定。わかりやすい図、表、評価。質的評価や経過の評価。科学的根拠に基づくアセスメント
15年以上25年未満	主任・主査	学会発表
15年以上25年未満	主任・主査	わかりやすい資料にして、必要な部分を抜粋する。→報告をきちんと行う。（目に見えない効果も含め）
15年以上25年未満	主任・主査	データと対象者の反応をあわせて提示したこと
15年以上25年未満	主任・主査	成果を一目見て分かる資料にまとめ、発信をしていくことが決め手となった。
15年以上25年未満	主任・主査	表現→可視化（グラフ、図、表、キーワードなど）
15年以上25年未満	主任・主査	アウトカムと住民にもたらす利益
15年以上25年未満	主任・主査	住民の組織活動を具体的に示す。住民の変化を具体的に示す。
15年以上25年未満	主任・主査	目で見てわかるグラフや表、それを考察する。
15年以上25年未満	主任・主査	対象が自分自身で何ができるか、見つけられる広がりをつくること、何かの成功体験。
15年以上25年未満	主任・主査	やはり、目でみえる数（参加数）を増やすこと
15年以上25年未満	主任・主査	客観的データ
15年以上25年未満	主任・主査	多くの職種、事務方を含めた中で、理解を得るためには、目で見えるdataを上手く活用すること、又根拠（法令e t c）を明確にすること
15年以上25年未満	主任・主査	コミュニケーション、情報交換、対話、顔と顔の見える関係づくり、わかりやすい説明（図表化、数値化e t c）
15年以上25年未満	主任・主査	住民の声を伝える。効果をわかりやすく表すことも必要
15年以上25年未満	主任・主査	説明する・資料
15年以上25年未満	主任・主査	事業に入ってもらって参加している人の顔や実施内容を実際に知ってもらうこと
15年以上25年未満	主任・主査	量と質的評価内容・他市の状況調査内容・国の動向等
15年以上25年未満	主任・主査	市民自ら活動し、成果を示すこと
15年以上25年未満	主任・主査	活動の結果を数値（データ）で示し、対象にわかりやすく伝える。
15年以上25年未満	主任・主査	小さい成果も含め、地道に報告していく。
15年以上25年未満	主任・主査	基本的に上司や対象的と相談しながら、自己決定できたことを伝えたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	十分な活動分析、それに伴う資料と証明
15年以上25年未満	主任・主査	税金や経費を示し、メリット・デメリットを図式化することが効果あった
15年以上25年未満	主任・主査	成果を様々な視点で伝えたこと
15年以上25年未満	主任・主査	記録に残すこと。時間があれば参加してもらうこと。
15年以上25年未満	主任・主査	わかりやすい資料の作成。日頃から活動の報告をする
15年以上25年未満	主任・主査	日々の努力を怠らない。個への関わりを大切にすること。
15年以上25年未満	主任・主査	成果・変化がひと目でわかる資料の作成、簡潔明瞭なプレゼンテーション
15年以上25年未満	主任・主査	相談に来た障害者に長時間かけて丁寧に対応することで、本人が納得して（落ち着いた）帰ったこと。
15年以上25年未満	主任・主査	保健師がどれだけ取り組めたかという実績
15年以上25年未満	主任・主査	実績を評価できる意見やアンケート等の実施と分析
15年以上25年未満	主任・主査	成果をきちんと記録に残し、共有すること
15年以上25年未満	主任・主査	内部スタッフの理解と、本番までの準備
15年以上25年未満	主任・主査	活動した結果を報告書で示したり、目に見える形で効果を示したこと
15年以上25年未満	主任・主査	成果をデータで分かりやすく示すこと。
15年以上25年未満	主任・主査	実施前のデータと実施後のデータを比較、また、反応を記述
15年以上25年未満	主任・主査	活動前後で参加者に表れる良い健康変化を意識化させる。上記の声を拾い、広報する。成果を個人のみ成果とせず、関係した団体の成果として広報する。住民主体の活動として、行政は支援に徹する。
15年以上25年未満	主任・主査	基礎データ（地域の課だい）と関わる事での効果をデータで示す
15年以上25年未満	主任・主査	実績をグラフ化・図表化したこと
15年以上25年未満	主任・主査	形になった冊子を見せた時
15年以上25年未満	主任・主査	数字で表すことによって、成果を認めてもらった。
15年以上25年未満	主任・主査	アンケートの意見や出席率などのデータをみせる
15年以上25年未満	主任・主査	保健師ができること、できないことを相手に伝え、役割分担を明確にするよう動いたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	活動前後の状態を比較し、グラフ・数値化する事で
15年以上25年未満	主任・主査	相手が理解しやすいようなまとめ方。・点を面にする表現
15年以上25年未満	主任・主査	ニーズを持っている人と人をつなげること
15年以上25年未満	主任・主査	参加してよかったという声や困った時に助ったという声が上司に直接届いた

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	主任・主査	成果について報告すること。データが出せる物であれば（アンケート結果など）それを示す。
15年以上25年未満	主任・主査	きちんとデータ化して、わかりやすくまとめあげ、効果を説明したとき
15年以上25年未満	主任・主査	住民の日常生活や会話の中から中高年のニーズをとらえ、講演会（認知症予防）と4か月間の教室を計画して呼びかけたところ、希望者が予想の3倍程あり参加者が楽しみに出席できている。
15年以上25年未満	主任・主査	住民との連携
15年以上25年未満	主任・主査	効果がわかる資料を作成し、それを基に説明
15年以上25年未満	主任・主査	地域住民の反応…結果として行動変容したこと（できたこと）を大いに公表する。
15年以上25年未満	主任・主査	目に見える資料づくり
15年以上25年未満	主任・主査	分かりやすいように図や表を用いて説明する
15年以上25年未満	主任・主査	数的な根拠、住民の声（アンケートなど）を伝えた。
15年以上25年未満	主任・主査	P D C A サイクルに添って資料作成し説明。今年はマインドマップを作成し説明している。（上司についてはマインドマップを使用して説明している）
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果を数字で示すこと。市民の声をアンケートをとり訴えていく。
15年以上25年未満	主任・主査	健康教室終了後も自主グループとして活動が続いたこと
15年以上25年未満	主任・主査	上司は内容より受診率や事業への参加人数で評価する
15年以上25年未満	主任・主査	成果について具体的に（住民の声やニーズが、どう満たされたかなど）提示し、報告したこと。
15年以上25年未満	主任・主査	計画的な活動とその効果をわかりやすく図や表を使って説明すること
15年以上25年未満	主任・主査	参加者が多くなった。参加者の生活改善が継続できている
15年以上25年未満	主任・主査	数値目標に対し、どの程度まで達成できたかを数字で示す。
15年以上25年未満	主任・主査	自分として力を入れて取り組んだ点や、活動前後でのデータ比較を伝えることで、評価をしていただけたように思う。
15年以上25年未満	主任・主査	分かりやすい資料を作る。分かりやすく説明する。興味をもてるように工夫する。
15年以上25年未満	主任・主査	住民視点（母親の目線）
15年以上25年未満	主任・主査	活動の成果をデータ化し、資料作成したことが成果につながった。
15年以上25年未満	主任・主査	実数を上げる。
15年以上25年未満	主任・主査	日頃からの報告など（実践してみてもうどうだったかなど）
15年以上25年未満	主任・主査	具体的な成果を出せていない状況なので特にないです。
15年以上25年未満	主任・主査	取り組むための体制を実行委員にして“町づくり”をテーマに住民も委員になってもらい、企画・実施・評価の全てのプロセスに参加してもらったこと
15年以上25年未満	主任・主査	住民の評価の声
15年以上25年未満	主任・主査	成果をわかりやすい説明する。相手の言葉で伝える
15年以上25年未満	主任・主査	該当する経験がありません。
15年以上25年未満	主任・主査	住民に対して、目でみてわかりやすいデータ・グラフ・演出・身近な問題から入っていく、興味をもってもらうこと。
15年以上25年未満	主任・主査	費用対効果
15年以上25年未満	主任・主査	個別のケースでは、改善がみられたり成果があった方もおられますが、全体の数値（受診率、保健指導率…）でみると、伸び悩み成果を評価してもらえた経験はありません。
15年以上25年未満	主任・主査	経過と結果、今後の方向性について説明していったこと
15年以上25年未満	主任・主査	データを示す。評価し、まとめたこと。
15年以上25年未満	主任・主査	市民からの直接の声・アンケート結果（→これらが次の保健師活動へのモチベーションや計画につながる）に活動の成果が感じられること。
15年以上25年未満	主任・主査	数値化等であらわすことが難しく、課題です。
15年以上25年未満	主任・主査	E B M に基づく計画書、実施・日頃の人間関係（信頼関係）
15年以上25年未満	主任・主査	効果を数値で示したこと、それをわかりやすく資料にまとめたこと。結果を公表すること。機会ある毎に関係者に伝えたこと。対象者にも結果を返していったこと。
15年以上25年未満	主任・主査	わかりやすい資料作成が大切だと思います。成果が具体的に数値やそこから見える課題等含め、説明もまとめた内容にしていく
15年以上25年未満	主任・主査	市民（対象）がどう変わったかを伝える
15年以上25年未満	主任・主査	来所者の数、訪問件数、受診率といったものが決め手になりやすい
15年以上25年未満	主任・主査	いっしょに活動して、その成果をその都度、確認したり、うまく行かないなら行かないなりに、その問題を話し合うことで、共通理解ができ成果も確認してもらえる。
15年以上25年未満	主任・主査	地区の特性、住民ニーズと活動がもたらした結果、今後の活動課題、財源や人材・社会資源の開発とそのプロセス、根拠法令等
15年以上25年未満	主任・主査	活動自体単独で行うものではなく、協働して作り上げていくため、成果としての評価は参加・協働していく中で感じてくれている事だと思う。特に住民は方向性を示しつつも住民自らが取り組む活動を評価していくことで、よりよい形となる事が多い。
15年以上25年未満	主任・主査	活動した結果を記録して残すこと。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	主任・主査	1つのことが要因で成果をあげていることは少ないもので難しいが、対象者の質的評価をアンケートなどで確認して明確にすることが評価となる。
15年以上25年未満	主任・主査	連絡を密にとること
15年以上25年未満	係長以上	実績をまとめて報告する
15年以上25年未満	係長以上	わかりやすい資料、当事者の生の声を伝える
15年以上25年未満	係長以上	何度となく顔出しや、機会を設け、関わりの回数を増やす
15年以上25年未満	係長以上	事業ごとに報告書を作成する。アンケートを実施し、利用者から意見を求める
15年以上25年未満	係長以上	評価表を用いて、具体的に成果を伝えた。
15年以上25年未満	係長以上	活動前後の数値的データの変化
15年以上25年未満	係長以上	活動の成果を具体的なイメージとしてわかるように明示し、それぞれの機関・上司に説明し、各機関の意味付けを行った事。
15年以上25年未満	係長以上	企画書に沿った実施書、アンケート結果などをまとめて伝えていくこと。
15年以上25年未満	係長以上	数値的に成果を示す。
15年以上25年未満	係長以上	わかりやすい資料で説明する。・誠意と情熱！
15年以上25年未満	係長以上	文章やデータ化することで相手に理解してもらうよう報告する
15年以上25年未満	係長以上	分かりやすい形で表わす
15年以上25年未満	係長以上	楽しく活動し、報告をし、時には発表会 e t c に参加してもらう
15年以上25年未満	係長以上	実際に関わった人から感謝を言われたことを伝える
15年以上25年未満	係長以上	住民と共に活動し、共に評価したこと（具体的な課題と活動を）
15年以上25年未満	係長以上	一目で分かる図表にて説明する
15年以上25年未満	係長以上	上記の資料で改善や悪化を評価し、事業の成果とする
15年以上25年未満	係長以上	目的を明確にし、実績に成果があった。明確に成果として上がらなかった場合も、それまでに至る経過（企画準備など）も一緒に考えてもらい、情報共有することが決め手だったと思う。※顔のみえる関係づくり、熱意を伝え、理解しあえることも大切。
15年以上25年未満	係長以上	効果、実績を数値等で明示すること
15年以上25年未満	係長以上	学会発表でのまとめ、データ
15年以上25年未満	係長以上	連携、ネットワークにより問題を解決し、また、未然に防いだ
15年以上25年未満	係長以上	計画して実践したことが成功した、あるいは住民からの評価の声があった。
15年以上25年未満	係長以上	口頭だけでの説明ではなく、実際の成果を記録や、目で見える媒体で示すこと
15年以上25年未満	係長以上	途中の状況や、日頃の保健師の動きを見てもらうこと
15年以上25年未満	係長以上	学区役員との話し合い経過をまめに報告。当日の様子、その後の住民・役員の感想も伝える。地域役員が直接上司や担当係に話す。
15年以上25年未満	係長以上	活動前後でどんな違いがあったかを示すことで成果を評価してもらう。
15年以上25年未満	係長以上	成果をまとめて学会発表や住民組織に対して説明すること
15年以上25年未満	係長以上	その活動が住民が望んでいたものであったこと
15年以上25年未満	係長以上	受診率が上がったこと
15年以上25年未満	係長以上	アセスメント内容の評価をきちんと行い、アンケート等で住民ニーズをきちんと把握し、次の事業につなげること
15年以上25年未満	係長以上	必要と思われる活動について、理解を求めたい人に直接合って話をしたり、確実なルートを通して現状を伝え、考えてもらうことで、期待していた事業として確立されたり、今後の取組みの課題として考えてもらえるようになった。相手にとって訴えていった内容は、ある程度、必要な事と認められるコンセンサスが得られやすい時代になってきていたもので、あと一押しで良かったのかもしれない。現状の丁寧な説明、関係する様々な人達に声をかける→その人達に互いに連絡を取り合ってもらようようにする。
15年以上25年未満	係長以上	上記に対し、成果があった部分を強調し、図表で示す。この成果がどんな意味があるか、それが大目標としてどこにつながるものかを明確に示す。
15年以上25年未満	係長以上	実施前後の効果を表わす資料をわかりやすく作り説明。また年次的変化、他市町との比較表作成
15年以上25年未満	係長以上	地区住民のうち8割近くがHbA1c高値で放置していることを知り、訪問したこと
15年以上25年未満	係長以上	対象者の身体や気持ちの変化があったこと
15年以上25年未満	係長以上	数値化すること
15年以上25年未満	係長以上	参加者の数、感想
15年以上25年未満	係長以上	活動を行ったときの対象者の声（アンケート等）を収集し満足度を測った。
15年以上25年未満	係長以上	活動前と後の数値での変化や発言内容の違い
15年以上25年未満	係長以上	地区住民の生の声を聞くこと
15年以上25年未満	係長以上	対外的に評価
15年以上25年未満	係長以上	活動報告の記入。
15年以上25年未満	係長以上	活動の成果を報告会で発表する。報告書にまとめる等、示すようにした。
15年以上25年未満	係長以上	成果がわかるよう比較できる資料を示す
15年以上25年未満	係長以上	人間関係の構築

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
15年以上25年未満	係長以上	成果と数値化すること
15年以上25年未満	係長以上	アンケート等による直接的な意見をデータ化し、示すこと。
15年以上25年未満	係長以上	きちんとした評価指標をもち、対象者の実際の声や数値として示すこと
15年以上25年未満	係長以上	実施前後の数値をグラフ化して示したことでわかってもらえたのではないと思う
15年以上25年未満	係長以上	地域住民とともに成果を媒体であらわしてみる
25年以上	スタッフ	関係者の役割を明確にして、協働で事業をすすめることで全員が成果を共有すること。
25年以上	スタッフ	結果として良くなったと実感できれば評価は自然についてきます。（評価は、変化を起こした職員でなく、その後を引き継いだ職員が受けるものです）
25年以上	スタッフ	相手が「こうなりたい、こうあってほしい」と思っていることを事前にリサーチし、活動とその成果説明を対象者の関心に合わせて行う
25年以上	スタッフ	住民の声と、参加者数等の数値
25年以上	主任・主査	会議の中で問題提起した問題を、参加者に議論し意見を発表してもらうこと
25年以上	主任・主査	明確な記録での報告。次年度への方向性を示すこと。
25年以上	主任・主査	必要なデータをそろえ、十分な話し合いをすること
25年以上	主任・主査	実施前後の変化や効果を示す
25年以上	主任・主査	数的なデータ・アンケート結果
25年以上	主任・主査	住民が（母と乳児）直接事業に協力してもらえることにより、その感想を聞きながら協力者自らが、この事業を継続して欲しいという声を発してくれたことによる。
25年以上	主任・主査	実績を示すことと成果を体験した人の声を伝える
25年以上	主任・主査	活動前後の変化や効果を説明する
25年以上	主任・主査	対象の方からのプラスの評価が期せずして伝わってきたこと（自分の活動が喜んでもらったこと）。意図的にであれば、数値で表現できない部分も言葉を惜しまずに説明すること。
25年以上	主任・主査	評価の提示（プロセス、アウトプット、アウトカムなど）。・関係機関や住民組織の成果を強調したこと。
25年以上	主任・主査	P D C Aサイクルの図に活動を入れて保健師の評価、改善策も具体的な傾向として表わしたものを提示する。
25年以上	主任・主査	住民とともに取り組み成果を行政サイドからも住民サイドからも報告できること。
25年以上	主任・主査	結果の資料を作り、どう成果があったかわかりやすく説明する
25年以上	主任・主査	医療費の状況、死亡状況、訪問による効果（入院状況、特に精神については訪問件数と社会的入院状況）
25年以上	主任・主査	住民の意見をとり入れ、住民自ら活動したいという気持を大切に、側面的に支援は行うが、住民自らが自分達でやったと思ってもらう事業。
25年以上	主任・主査	住民とふれあい、意見を尊重しながらすすめた
25年以上	主任・主査	活動や事業のプロセスの共有
25年以上	主任・主査	参加者の感想や意見の公表
25年以上	主任・主査	住民自身のやる気のおこさせ方。住民自身が楽しんで参画する環境づくり
25年以上	主任・主査	新型インフルエンザの流行期の対応について、情報の伝達方法及び周知方法
25年以上	主任・主査	報告書作成や成果をシンポジウム等で報告・学会や研修会、研究会で報告
25年以上	主任・主査	住民の代弁者となる
25年以上	主任・主査	成果が見える形で広報する。チラシ等
25年以上	主任・主査	事例など分析し、まとめ、発表する
25年以上	主任・主査	根拠あるデータで説明する
25年以上	主任・主査	結果を示す（成果物を目に見える形にする）
25年以上	主任・主査	数値目標を掲げて、到達点を出す
25年以上	主任・主査	皆で思いを共有しP D C A協働作業し解決していく。常に経過を報告する。
25年以上	主任・主査	上司、スタッフに恵まれた、一致団結できた。資料化、予算化、報告書作成し発表した。
25年以上	主任・主査	アンケート結果等の集計や、住民の生の声をまとめ、書類で示したこと
25年以上	主任・主査	住民と、町のあるべき姿を話し合う中で、毎回参加者の感想を話し合ったり記入してもらい、まとめたこと。
25年以上	主任・主査	簡単なことです。実施前後の状況を分析し、グラフ等わかりやすくプレゼンを行う。
25年以上	主任・主査	質的評価だけではなく、数字で評価できるものが必要。
25年以上	主任・主査	住民同士がテーマについて、自分たちの問題として考えてもらう時間を設けたこと。また、住民同士意見交換できる場を提供したこと。
25年以上	主任・主査	事業の成果を研究としてまとめ、発表することで評価を得る。・事業実施後に、実績をまとめ、事後の検討会を開いて、意見交換会を行ったこと。
25年以上	主任・主査	事業前後の比較が明確に示せること。その事業が市全体の又地域全体の既存の課題にどのようにつながるかが明記されていること。
25年以上	主任・主査	受診率の比較。検診結果からの肥満やDM等、生活習慣病にかかわる実態（動向）。
25年以上	主任・主査	わかりやすい資料を提示しての説明。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	主任・主査	上司には事柄について、細めに相談報告し、向うべき方向について理解をしてもらう。
25年以上	主任・主査	住民に役割をとってもらうことで、住民の力がエンパワーメントされ、活動が広がっていく。保健師はそれらをまとめて誰にどう働きかけるか方向性をうち出すこと。
25年以上	係長以上	学会、研究発表、情報誌等に提出したり、人事考課制度や目標管理制度などを活用すること。
25年以上	係長以上	活動による変化を客観的データをもって示す・到達度を目的目標と照らしあわせて示す
25年以上	係長以上	パッとみてわかる資料と明確な説明、日頃の業務にむきあう態度
25年以上	係長以上	実際に喜ばれた、やってよかったとの実感をもつ、体感する
25年以上	係長以上	活動の前後の状況や変化がわかるように目標を設定し評価する
25年以上	係長以上	住民組織に負担をかけない工夫、住民の意見を聞く
25年以上	係長以上	活動の成果を学会で発表し、庁内では報告書にまとめ供覧した。専門雑誌からの執筆依頼を受け、雑誌に掲載されたこと
25年以上	係長以上	費用対効果と社会的に目にみえた評価、成果が示せた事
25年以上	係長以上	評価指標を明確にして、成果をプレゼンテーションをする。住民の声、対象者の声をもとに活動成果をみせていく。
25年以上	係長以上	著明な成果がみられていないので、いい評価は得られていない。
25年以上	係長以上	特に思いあたる決め手はありません
25年以上	係長以上	活動前の状態・目的を示し活動を方法と共に数量化し、活動後の変化・状態をわかりやすい表現方法で示した。活動することによって変化したことを示した。
25年以上	係長以上	事前状況と成果を住民の声をまとめること、実施者の感想で終わらず、次への課題の提示をすること（実行可能である）
25年以上	係長以上	精神障害者の作業所、援産施設等の設置により、医療費が下がり、市民からボランティアグループが立ち上がった。
25年以上	係長以上	アンケートの集計や書かれていた市民の意見をそのまま伝えたこと
25年以上	係長以上	経年の推移を表やグラフを作って報告・個別の事例報告を行い、質的な理解を得た
25年以上	係長以上	相談等に対するタイムリーな対応。
25年以上	係長以上	成果を数値化して示すこと。
25年以上	係長以上	評価指標を図やグラフで見やすくした事。説明文をわかりやすくする事。
25年以上	係長以上	専門職以外の人にもわかるような評価指標を出す。数量変化など客観的な結果を示す
25年以上	係長以上	わかりやすい資料づくり
25年以上	係長以上	活動後のアンケート調査
25年以上	係長以上	他の例を見せること
25年以上	係長以上	活動の結果から得た効果を住民自身が上司または首長に知らせてくれたこと
25年以上	係長以上	実施後の住民の効果、評価を提示
25年以上	係長以上	業務を統計としてまとめ、発表する
25年以上	係長以上	長い間の継続、住民の方の支持
25年以上	係長以上	地区での介護予防事業については、経費がかからないが参加者が比較的多く、喜んで参加していると議会からも評価された
25年以上	係長以上	実績報告、住民自身による活動報告、活動への参加を促す
25年以上	係長以上	事業のねらいをわかりやすく資料化する（説明にあたっては紙ベースや、パワーポイントを活用）
25年以上	係長以上	同上の件。検査と同時にに行った啓発イベントに上司の出席も求め、また実施後は事業をまとめて発表する機会を作り、成果の理解を得た。
25年以上	係長以上	良い結果が得られること。または意図的に苦勞をわかちあうこと～結果が多少悪くても。
25年以上	係長以上	目に見える形でまとめる。住民に語ってもらう。
25年以上	係長以上	子育て関係の計画づくりの市民団体のヒアリングの際に、参加した人から保健事業に対する良かったという意見をもらった。地道に活動をするのはもっともだが、市民の声をきく場を活用して関係者や上司に聞いてもらうことが決め手だったと思う。しかし、批判がでるリスクも高い。
25年以上	係長以上	住民満足度と数値的効果資料
25年以上	係長以上	①丁寧に面倒がらずに対応。②事例をまとめておく。
25年以上	係長以上	パワーポイント等、効果的な資料作成
25年以上	係長以上	活動目標を明かにし、どの程度 or どのようになったかを報告する。（発表伝達する場をもつ、つくる）活動中の相談や連絡を必ずする。（連携を密にする場をつくる）
25年以上	係長以上	活動量（アウトプット）と成果（アウトカム）の明確化。指標にすること。
25年以上	係長以上	データを示すこと
25年以上	係長以上	成果を説明しても評価してもらえない、組織上の鎖がある
25年以上	係長以上	保健計画を策定した際に、住民参画の形として、住民の声やワーキングの様子を具体的に表現し、話し合い場面の写真など、プロセスを重視した内容にした。
25年以上	係長以上	数値や目で見える結果

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	住民からの反応、意見を提示する。経年的データの提示
25年以上	係長以上	とにかくコミュニケーションをとり、よく話をする
25年以上	係長以上	報告書をまとめてみせる。いっしょにやってよかった～という気持ちを共有する。
25年以上	係長以上	子どもたちの変化をシンポジウムで学校・地域・赤ちゃんの母親から語ってもらうこと。子どもたちの作文の紹介
25年以上	係長以上	個々の成果・グループとしての成果を説明する。(数字、感想)
25年以上	係長以上	対象の変化や経過を記録して伝えた。
25年以上	係長以上	協力者に対して説明を充分にする
25年以上	係長以上	エビデンスや他市町村の情報などの裏づけを用いて説明。資料を準備する。又聞きあえる関係性がある。
25年以上	係長以上	データを資料で提示し、住民の反応を直接報告する
25年以上	係長以上	責任をもって対応すること
25年以上	係長以上	活動のまとめを文書にして関係者の集まる会議で当事者に報告をしてもらった。「生の声を伝えたことで理解が深まった」
25年以上	係長以上	参加者(対象者)の反応をアンケートに集計し提示する。
25年以上	係長以上	タイムリーに成果を記録にまとめること。
25年以上	係長以上	住民の声、アンケート
25年以上	係長以上	目に見える形にすること。効果をわかりやすくまとめる。
25年以上	係長以上	データへの提示
25年以上	係長以上	自分が楽しんでできる仕事
25年以上	係長以上	活動を住民と一緒に計画・実施し、また一緒に評価できるようデータを示すことと、生の声を十分聞きとることが大切と思う。
25年以上	係長以上	健康フェスティバルのようなイベントで、住民自らが活動の成果を発表したこと。成果の検証は大学と共同で行い、学会で発表したこと。
25年以上	係長以上	患者会の育成のため、きめ細かく患者の家庭訪問を実施。それによりメンバーが増え活性化につながり、自主組織へと成長した。
25年以上	係長以上	活動の進捗状況を報告、進捗状況を評価する組織をつくる
25年以上	係長以上	客観的データで変化が示されること、声かけ、足で稼ぐというか、直接的な関わりで対象が変わったりすることで、評価してもらえるように思う。
25年以上	係長以上	成果指標のデータを示し、説明する
25年以上	係長以上	参加者の感想や意見をまとめて報告することと、終了後に関係機関との報告会議で報告することで、活動を全体的に周知したこと。
25年以上	係長以上	活動する必要性の決定と、やってみてのふり返し等、一緒に体験することにより実感として感じることができ、データ等を示して裏づけることでよりわかりやすい。
25年以上	係長以上	組織活動の中で、保健活動が住民に理解し、健康に対しての行動変容となったこと
25年以上	係長以上	評価を確実に行って上司に示した
25年以上	係長以上	数値による提示
25年以上	係長以上	1例1例のケース課題を解決することをつみかさねていく。誠実に対応をすることをつみかさねることが大切(現場第一)
25年以上	係長以上	住民の評価(感想、体験)を伝えたこと
25年以上	係長以上	実績を文字、数値化して報告する・広報等によりメディアを通して反応を公開する
25年以上	係長以上	活動の経過と成果をわかりやすく示すこと
25年以上	係長以上	効果・成果を評価すること
25年以上	係長以上	成果をわかりやすい資料にして配布、説明した。日頃から地域の関係者の方と会う機会が多いので、活動内容を伝えるようにしている。
25年以上	係長以上	数値での変化を示す
25年以上	係長以上	成果を目で見える形にして表わすこと。住民の声を拾い、まとめたものを表すこと
25年以上	係長以上	成果をしっかりとまとめてからの報告
25年以上	係長以上	活動による効果(参加率、参加者の健康に関する数値の変化、参加者の感想等)を数値を使い、わかりやすい図・表にした媒体で説明すること。
25年以上	係長以上	統計、実績等の事実の積み上げの資料を媒体として説明を行った
25年以上	係長以上	住民からの評価があること。
25年以上	係長以上	活動の結果をデータなどの形として報告すること。
25年以上	係長以上	数的成果。数で示すと評価されやすい。でも保健師の仕事は数で示すのがむずかしい。
25年以上	係長以上	数値の改善だけでなく住民からの声を伝える。写真撮影が可能であれば住民の表情・様子を伝える。見せ方重要。
25年以上	係長以上	生活習慣改善、健康づくりの活動が自主化し、地域に広がっていること。
25年以上	係長以上	現状を分析し、それを文章としてまとめること。そこから新たな問題点や解決策が整理できる。
25年以上	係長以上	住民と協働で活動する過程をその都度、上司に報告したこと。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	困難と思えた支援が、連携（ケース検討会やカンファレンス）をくり返すことにより実績となり、新たな支援の可能性が出来たこと。
25年以上	係長以上	実施のプロセスと結果を簡潔にまとめる ・参加者の意見のまとめ
25年以上	係長以上	実施率や改善率など数字を示すこと
25年以上	係長以上	結果を公表し、更なる協力等求めていくこと。
25年以上	係長以上	図表にまとめる・数値でデータをとっているものは数値であらわす
25年以上	係長以上	事業計画書を作成したこと。予算の裏付け（国の補助金）。県・地元医師会・健診機関と連携をとって実施したこと。
25年以上	係長以上	住民から直接発せられる言葉を大切に活動に反映させる
25年以上	係長以上	住民にわかりやすい効果の実感を伴う方法で評価すること
25年以上	係長以上	活動前と後の比較、変化等を書面に表し説明することで評価してもらった。
25年以上	係長以上	活動から得られた成果を分析し、相手方へ協力のお礼と共に返す（フィードバック）。時には生の声を直接伝える。
25年以上	係長以上	（1）質的評価：当事者の回復、改善（精神障害、ひきこもり等）→当事者自身が語る場を設定をしそこに住民や関係機関に集ってもらい理解を促す；対象者の意識・行動の変化（感染症予防等）→活動の前後でのアンケート調査で比較し成果を提示
25年以上	係長以上	データと熱意
25年以上	係長以上	自分で説明する。他県や学会など、あらゆる場で発表する
25年以上	係長以上	活動の前と後の変化をわかりやすく表現して伝えること
25年以上	係長以上	活動状況を実際に見てもらったこと。住民組織や関係者と活動を共にしたこと。
25年以上	係長以上	受診率等、数字で示す
25年以上	係長以上	数値であらわす他に、住民からの声を直接聞き機会をもつ。
25年以上	係長以上	直接、顔をあわせていつも報告や情報交換、意見交流が必要。事前、後の評価をわかりやすく説明。
25年以上	係長以上	数的なもの（参加者数、受診率等）、アンケート内容をまとめた資料、住民の生の声を伝える。
25年以上	係長以上	報告書にまとめる、成果物（媒体）を作る
25年以上	係長以上	参加者の表情とか感想など、具体的に市民からの声を伝えた
25年以上	係長以上	熱意と、その結果を住民に返したこと。
25年以上	係長以上	参加者数など
25年以上	係長以上	活動の結果をわかりやすい資料にまとめる
25年以上	係長以上	参加者、関係者に実際に参加した結果の意見をタイムリーに聞き（又はアンケートに回答してもらい）活動の成果を共有すること。
25年以上	係長以上	地区組織（母子愛育班連合会・食生活改善推進協議会）が各々、厚労省大臣表彰を受賞。がん検診受診率が県下1～2位に達した。
25年以上	係長以上	実施計画書、実施前実施後の効果判定、結果をきちんと書面で提示、目に見えるものでないと上司を説得できない。
25年以上	係長以上	量的な指標を示す。質的な指標は、対象者の生の声を活かす。写真等、視覚的にわかりやすい媒体を活用する。
25年以上	係長以上	事業をまとめ効果・改善点を示す、発表する
25年以上	係長以上	相手の立場に立って考えたことを示すこと。その上で必要とされるデータ案を示し、一緒に考える姿勢を大切にすること。
25年以上	係長以上	実施前と実施後の数的変化、資料の提供、住民の声
25年以上	係長以上	これまでの経過を資料等で確認したことに加え、実際に住民や関係者に会う、電話をするなどして情報を集めたこと。
25年以上	係長以上	健康づくり計画、食育計画等を全戸配布した後も、健康教育の場でも説明したり、実施内容を広報に掲載し続け、周知、実施報告を続けたこと。
25年以上	係長以上	具体的な事例を関係者と共有する
25年以上	係長以上	住民が関心を持ち、新しく対応が求められていることを、県のモデル事業の他としてとり組んだ。地域の自主組織として活動が展開されている
25年以上	係長以上	地域保健福祉計画の地区計画を策定するにあたり、地域の課題を住民自身が出し合い検討する場を設け、お互いに課題解決に向け、何をしたいか、計画に盛り込むことができた。
25年以上	係長以上	見える形にして伝えていった
25年以上	係長以上	上司の求めることを行ったこと
25年以上	係長以上	周りの仲間の声、メディアへの周知
25年以上	係長以上	活動の前後の変化をデータや生の声をひろい示す。
25年以上	係長以上	実績と市民の反応、声（評価）
25年以上	係長以上	活動が目に見えて実績を残す
25年以上	係長以上	活動報告を文書にまとめる。
25年以上	係長以上	上司の言うとおりにすることです。

保健師としての 経験年数	現在の 役職	記述内容
25年以上	係長以上	実態を提示する
25年以上	係長以上	相手の思いを聞き、相手のわかることばを使う
25年以上	係長以上	関係者間で話し合いの場を持ち、活動について伝えて、情報交換することで成果を意識づけした。
25年以上	係長以上	結果をきちんと出すこと
25年以上	係長以上	結果を目で見てすぐにわかるように示す。専門職の視点で難しくてもわかりにくいため、できるだけシンプルに。グラフと文章で。
25年以上	係長以上	会議（説明）、会いに行く
25年以上	係長以上	住民が希望していると話す
25年以上	係長以上	関係機関等にまかせっきりではなく共同で動き、関係機関が自立して評価をまとめて、活動に自信を持ってくれる事
25年以上	係長以上	活動の成果をまとめ、成果の根拠が明確になるように工夫した。
25年以上	係長以上	活動の説明をこんな事をしてこのようになったと、具体的に数値にも表わしていった。
25年以上	係長以上	エビデンスを伝えること。・実施前後の変化を目に見える形で示すこと。
25年以上	係長以上	実態・評価を示す（数値で示す。目標に対してどうであったか、住民等の反応で示す）。節目での話し合い。
25年以上	係長以上	行政だけでなく、関係機関と共同で取組めたこと
25年以上	係長以上	成果を上げるための準備を充分に行ない、資料作成したこと。
25年以上	係長以上	効果としての数値。・上司へは、市民からの直接の意見、変化
25年以上	係長以上	相手が求めていることを中心に表わすこと
25年以上	係長以上	活動の成果を住民の声として出してもらえた。例えば、「感謝の声」など。
25年以上	係長以上	細かく地域に向いて直接対話。普段から細いなことでも連携する姿勢。地域のデータ。
25年以上	係長以上	変化のデータを示す。・住民の声を資料にのせる。
25年以上	係長以上	活動の経過や変化について説明
25年以上	係長以上	参加者が実感した効果を数値や記述で示す。また、その資料を分かりやすく説明した。事業の展開の見通しがっていることを示す。（1つから多数への波及効果を示す）
25年以上	係長以上	3に記載した内容を報告しながら結果を報告する。進捗過程を報告していく。
25年以上	係長以上	関係機関の情報を一冊のデータブックとしてまとめ、担当者間のネットワークにつながったこと。使用してもらって評価を得た。
25年以上	係長以上	計画に対して、達成度を示し、具体的な事例について示す。実施したことで効果的なこと、良かったことなどを示す
25年以上	係長以上	実績をわかりやすいスライドにしてパワーポイントで説明会を開催した。地域には公民館単位に出向きパワーポイントで説明会を開いていた。
25年以上	係長以上	統計の分析、実数の分析（実施率など）、関係機関との連携や支援状況
25年以上	係長以上	活動の結果（途中経過含）を数値で示す。・活動の結果（途中経過含）を住民等にかえす。
25年以上	係長以上	直接住民組織とのやり取りではなく、組織の主軸となる者に事前に説明し理解を得ておく。活動をはじめている組織の代表者に話に加わってもらう。